

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第14週 > インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-8

< 麻しん >
第14週の報告数は32であり、前週の報告数26を更に上回った



病原体情報
P.9-12

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報
P.13-16

腸チフス 2006年(2007年3月31日時点) / ノロウイルス感染による介護老人保健施設での集団発生事例 - 青森県



海外感染症情報
P.17

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / カンボジアでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(14週)
P.19-25



14週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

< 第14週コメント > 4月12日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

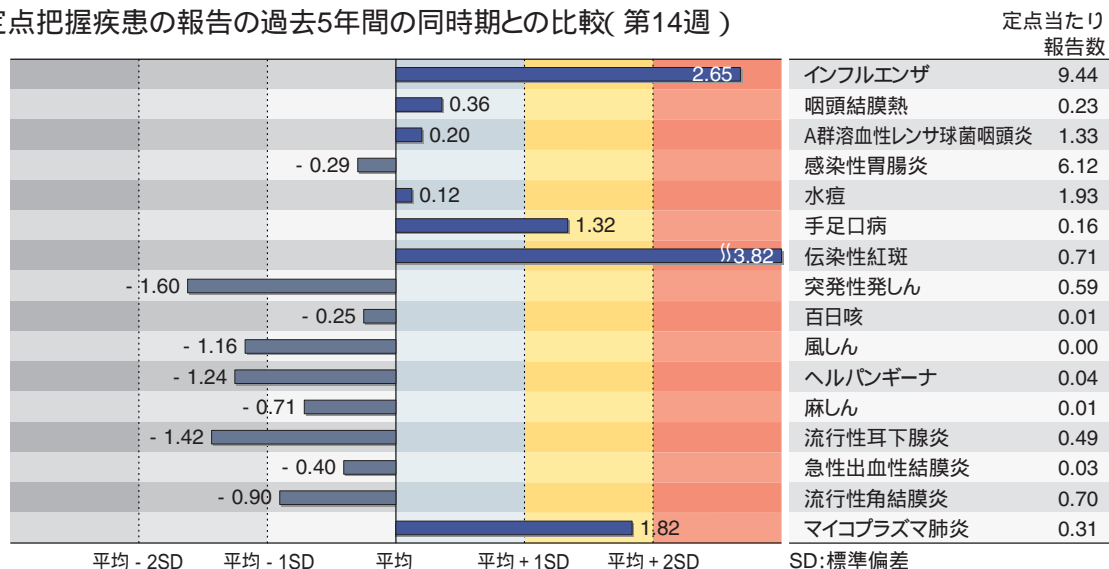
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核 47例
- 3類感染症: 細菌性赤痢 6例(感染地域: インドネシア5例、インド1例)
 - 腸管出血性大腸菌感染症 16例(うち有症者12例、HUSなし)
 - 感染地域: 石川県6例、富山県2例、福岡県2例、青森県1例、福島県1例、栃木県1例、三重県1例、滋賀県1例、熊本県1例
 - 年齢群: 10歳未満(5例)、10代(2例)、20代(2例)、30代(3例)、50代(3例)、60代(1例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(10例)、O8 VT1(1例)、O26 VT1(1例)、O157 VT1(1例)、その他/不明(3例)
- 4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: 宮城県、感染源: 不明)
 - A型肝炎 1例(感染地域: 長崎県)
 - デング熱 1例(感染地域: インドネシア)
 - マラリア 2例 熱帯熱1例(感染地域: ケニア)
 - 三日熱1例(感染地域: パプアニューギニア)
 - レジオネラ症 4例(すべて肺炎型)
 - 年齢群: 60代1例、70代1例、80代1例、90代1例
 - 感染地域: 岐阜県1例、大阪府1例、和歌山県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 9例(腸管アメーバ症5例、腸管外アメーバ症4例)
 - 感染地域: 国内8例、国内/国外(国不明)1例
 - 感染経路: 経口2例、性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)、不明4例
 - ウイルス性肝炎 1例(B型、感染経路: 性的接触(同性間))
 - 急性脳炎 2例
 - [A型インフルエンザウイルス1例(5歳)、インフルエンザウイルス(型不明)1例(5歳)]
 - 後天性免疫不全症候群 8例(無症候5例、AIDS 2例、その他1例)
 - 感染地域: 国内7例、ミャンマー1例
 - 感染経路: 性的接触6例、異性間3例、同性間3例、不明2例
 - ジアルジア症 1例(感染地域: インド)
 - 梅毒 5例(早期顕症1例、無症候3例)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
 - (遺伝子型: VanC_菌検出検体: 血液)

(補)他にバンコマイシン耐性腸球菌感染症1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: インド)、急性脳炎2例(ともにA型インフルエンザウイルス(1歳、3歳))、髄膜炎菌性髄膜炎1例(感染地域: 国内)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第14週)



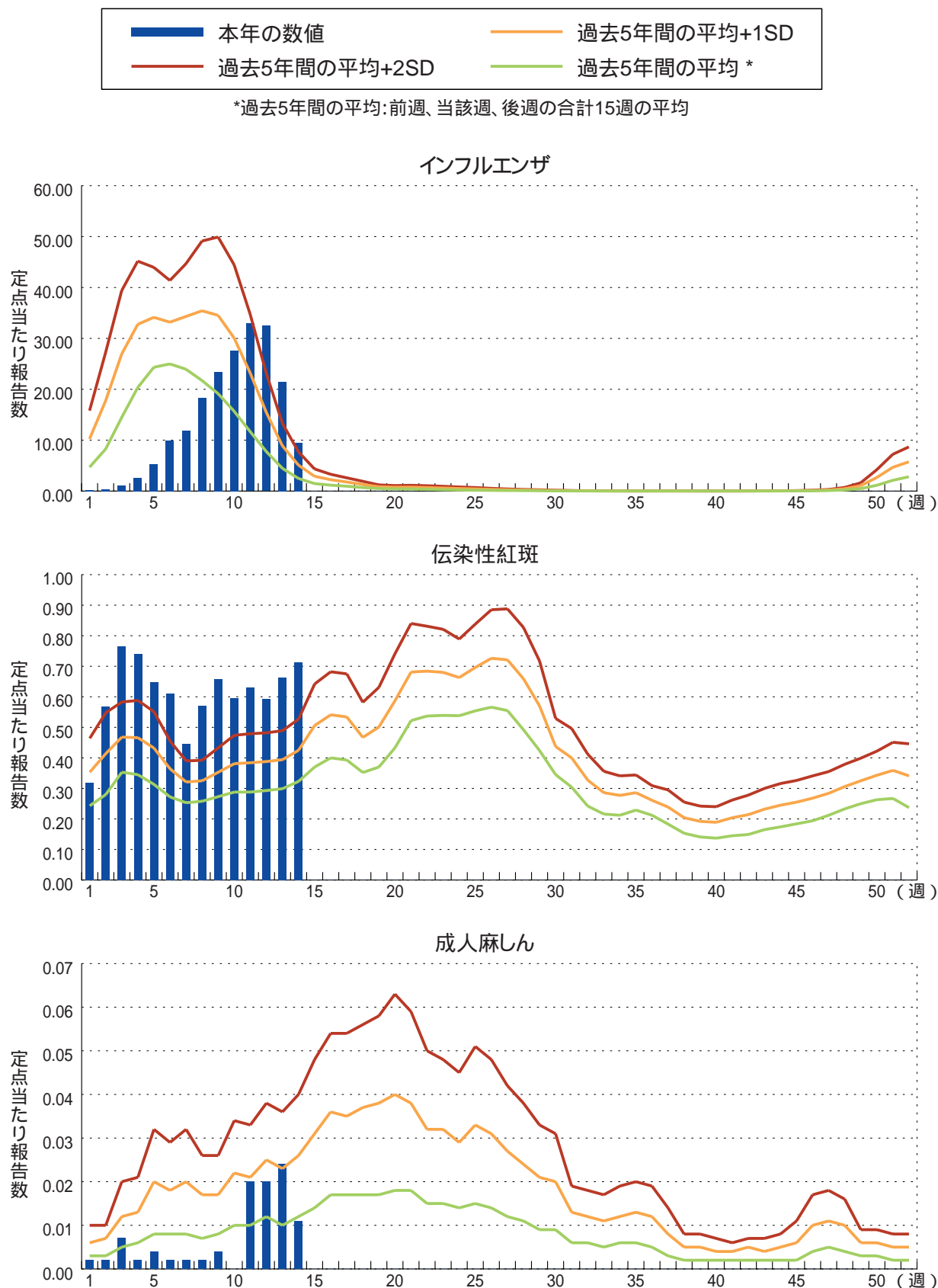
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(22.5)、沖縄県(22.3)、宮崎県(16.7)、福井県(15.5)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は290例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(0.83)、山形県(0.73)、島根県(0.65)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第11週以降減少が続いている。都道府県別では富山県(4.1)、石川県(2.8)、山口県(2.3)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では福井県(14.3)、宮崎県(12.7)、愛媛県(10.3)が多い。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では宮崎県(5.5)、沖縄県(4.6)、鹿児島県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県(1.4)、宮崎県(1.3)、長崎県(1.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(2.6)、石川県(2.6)、北海道(1.8)、長野県(1.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では栃木県(0.06)、千葉県(0.06)、岐阜県(0.04)が多い。風しんの報告数は微減した。都道府県別では宮城県、埼玉県、千葉県、富山県、大阪府、兵庫県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岩手県(0.26)、広島県(0.19)、長崎県(0.16)が多い。麻しんの報告数は2週連続で増加した。都道府県別では埼玉県12例、東京都6例、神奈川県4例、愛知県、兵庫県から各2例、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、京都府、大阪府から各1例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(1.8)、秋田県(1.8)、三重県(1.5)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では埼玉県(1.8)、福島県(1.7)、沖縄県(1.6)が多い。成人麻しんの報告数は5例であり、東京都から2例、宮城県、神奈川県、長野県から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1 ~ 14週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

麻疹

麻疹は空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、その感染力は極めて強い。特に4月は入学(園)式、始業式、更には入社式等、多数の者が一堂に会して空間を共有する機会が多く、これらの行事に参加した者に麻疹ウイルスが集団感染し、潜伏期間を経た4月中旬以降に、各地で麻疹のアウトブレイクが発生することはこれまでもよくみられた。麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合は、10日間前後の潜伏期を経て発症し、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと続いていく。先進国では致死率は低下しているものの、合併症発症率、入院率はわが国においても高く、未だ重篤な疾患であることには変わりはない。最近では比較的年長のワクチン既接種者において、非典型的な症状を呈する修飾麻疹を発症する例がしばしばみられており、この場合は潜伏期間が延長する場合も少なくない。

感染症発生動向調査によると、2007年第14週の小児科定点(全国約3,000カ所)からの麻疹の報告数は32(定点当たり報告数0.01)であり、前週の報告数26を更に上回った(図1)。関東地域からの報告数が多く、埼玉県12、東京都6、神奈川県4、茨城県、栃木県、群馬県各1となっており、埼玉県、東京都、神奈川県を中心とした関東地域からの総報告数は25と全体の約78%を占めている。

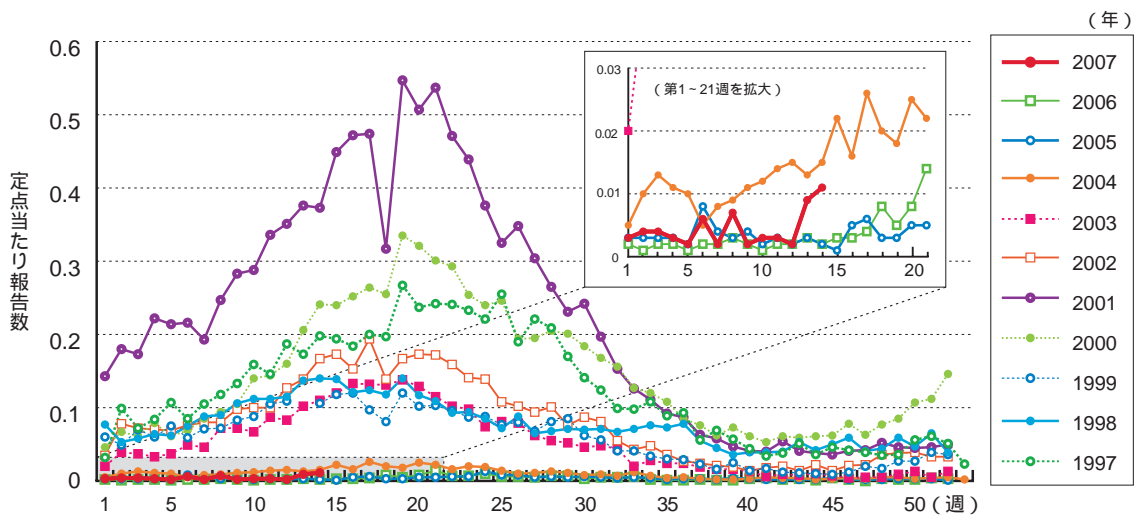


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第14週)

2007年第1週以降の全国の小児科定点からの累積報告数は182であり、埼玉県70、東京都28、千葉県14、愛知県13、神奈川県11、大阪府10の順となっており、大都市圏からの報告が目立つ。特に南関東地域の埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県の4都県からの累積報告数は123であり、全報告数の約68%を占めている。また、第10週以降の5週間では上記4都県からの報告数の全報告数に占める割合は約74%と更に高い(図2、図3)。

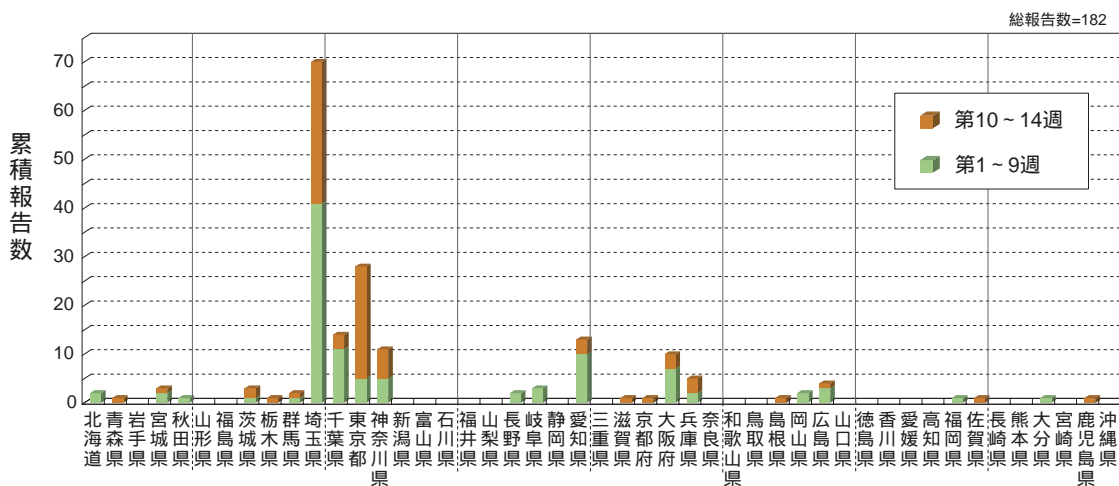


図2. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1~14週)

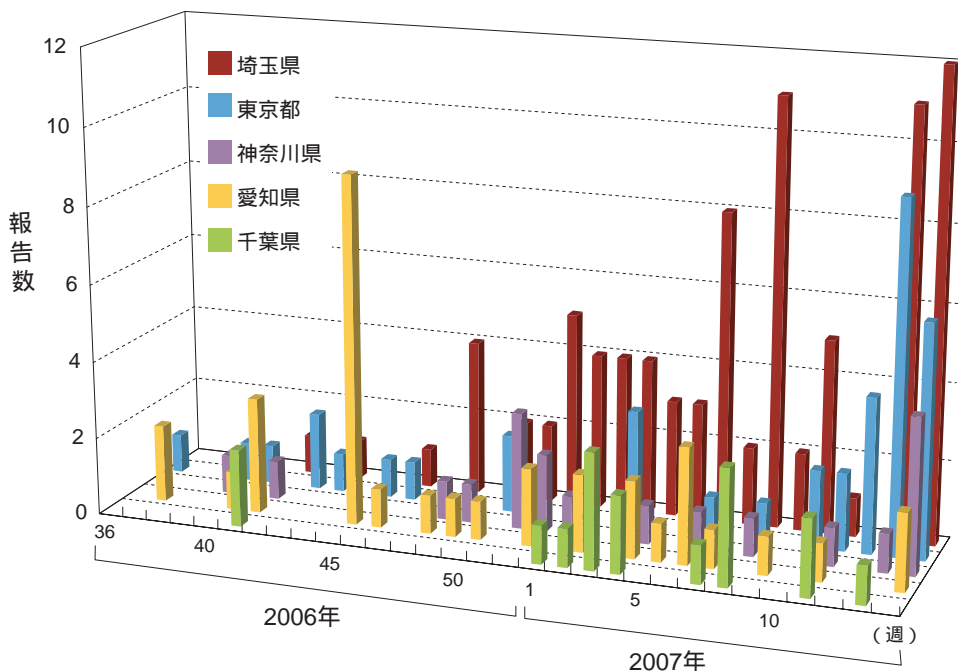


図3. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週 ~ 2007年第14週)

累積報告数の年次別推移をみると、2001年の流行以降は年々大幅な減少が続き、2005年、2006年と2年連続して報告数は500台となっている。更に累積報告の年齢別割合をみると、2000年以降2006年までは例年1歳児からの報告数が最多であり、次いで0歳児の順となっていたが、2007年では10～14歳からの報告数が27.8%と最多であり、次いで0歳児(18.3%)、1歳児(16.6%)の順となっている(図4)。

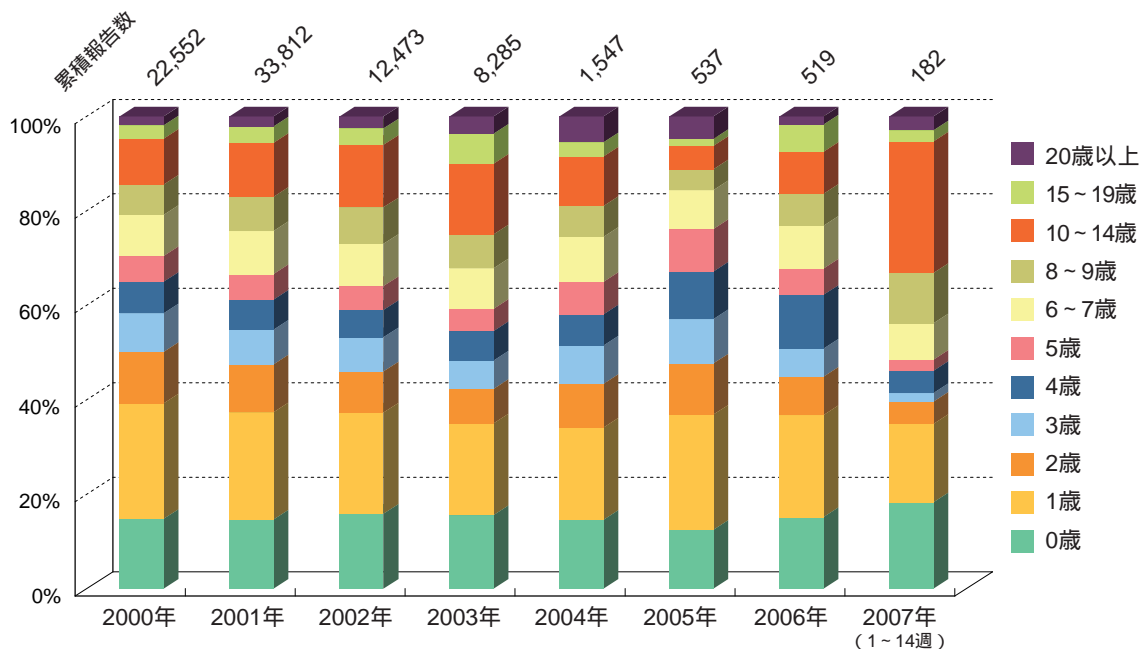


図4. 麻しんの報告症例の年別・年齢群別割合(2000～2007年第14週)

2007年第14週までの基幹定点(全国約450カ所)からの成人麻しんの累積報告数は47であるが、第10週以降の5週間の累積報告数は34と増加しており、特に東京都(18)、神奈川県(5)を中心とした関東地域からの報告が目立つ(図5)。

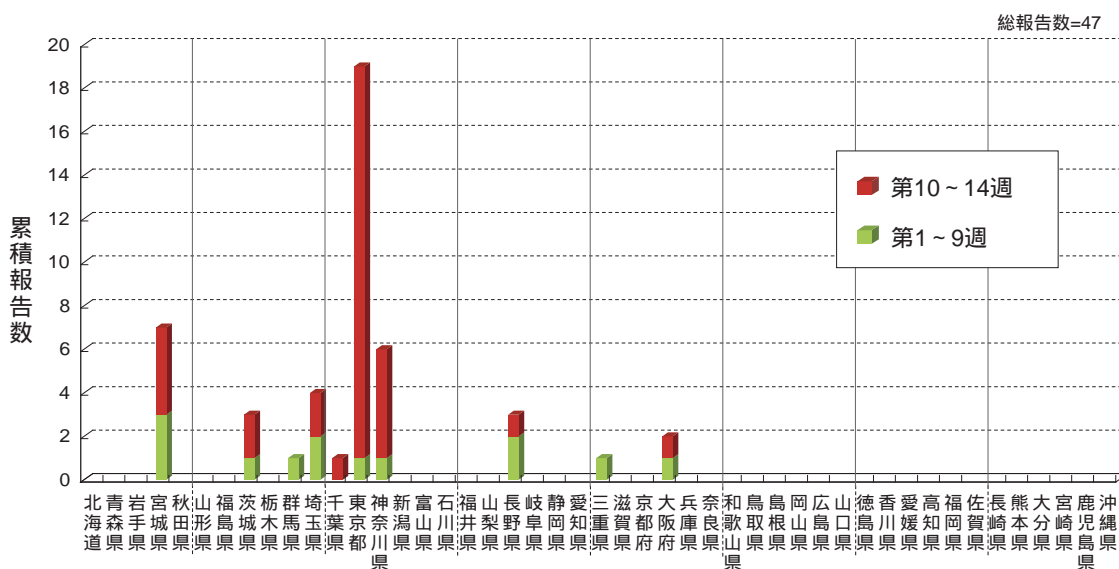


図5. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1 ~ 14週)

現在埼玉県、東京都を中心とした関東地域では麻しんが流行しており、既に学校や施設等における入学(園)式、始業式の実施を経て、今後4~6月にかけて流行は更に拡大する可能性が高いと危惧される。麻しんワクチン未接種で麻しん未罹患の方は、至急ワクチン(麻疹ワクチンもしくは麻疹・風疹混合ワクチン)の接種が勧められる(感染症情報センターホームページ：<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas0605.html>)。

麻しんは国内からの排除(elimination)を目標とすべき疾患であり、そのためには地域的な流行は積極的に阻止されなければならない。麻しんの流行を阻止するためには、1歳になったらすぐの1回目と学童期前の2回目を含めた麻しん関連ワクチンのより積極的な勧奨が必要であると共に、1例でも発生すればすぐに対応を講じる等の対策が重要である。

以下に、麻しん関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻しん対策として活用いただければ幸いである。

麻疹流行情報：<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas0605.html>

麻疹(国内情報：医療機関での麻疹対応について、保育園・幼稚園・学校等での麻しん患者発生時の対応マニュアル等)：<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

感染症の話「麻疹」：http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html

「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター：
<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>

「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを！」ポスター：
<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>

2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査 - 2006年10月1日現在中間評価 - :
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3252.html>

麻疹発生DB(データベース)：<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年4月12日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型も増加し、第9週以降はB型がAH3亜型の報告数を上回っている。

2006年第36週からの累計ではAH1亜型が33都道府県から239件、AH3亜型が43都道府県から1,559件、B型が44都道府県から1,204件報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型2件、AH3亜型10件、B型10件を含む)

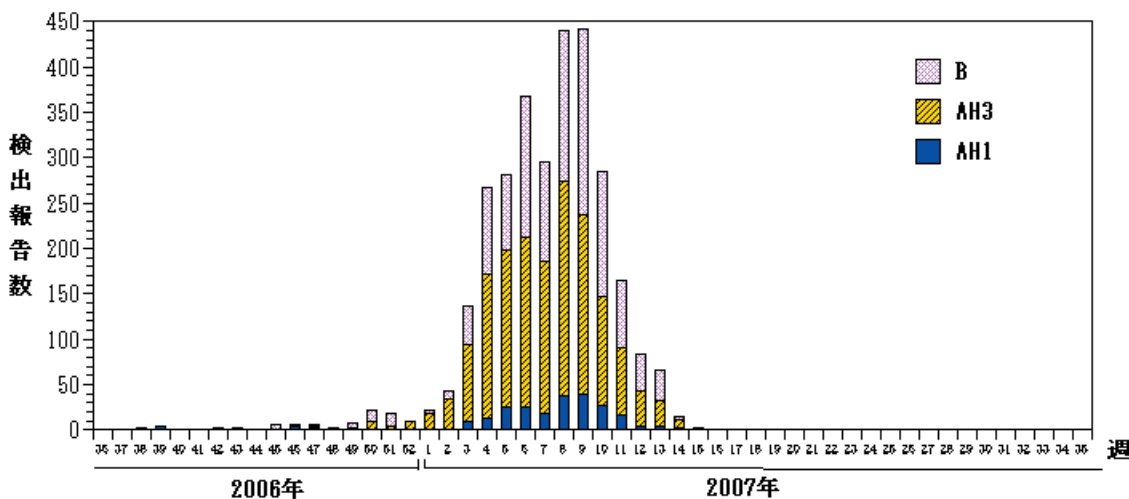
AH1亜型: 2007年第3 ~ 9週に10、14、25、26、18、37、40件と増加し、第10 ~ 14週には27、17、4、4、3件が報告されている。直近の4週間(第11 ~ 14週)では宮城県、山形県、神奈川県、新潟県各3件など15都道府県から報告されている。

AH3亜型: 2007年第1 ~ 8週に18、35、84、158、174、187、168、237件と増加し、第9 ~ 14週には198、121、74、39、29、8件が報告されている。直近の4週間(第11 ~ 14週)では神奈川県21件、北海道20件、長野県17件、高知県16件、宮城県13件、石川県11件、福岡県8件、大分県6件、秋田県、千葉県、新潟県各5件など22道府県から報告されている。

B型: 2007年第1 ~ 9週に4、8、42、95、83、154、109、166、204件と増加し、第10 ~ 14週には136、73、40、33、4件が報告されている。直近の4週間(第11 ~ 14週)では北海道、神奈川県各30件、新潟県13件、宮城県12件、長野県8件、山形県、熊本県各6件、青森県、千葉県、京都府、広島県各5件など23道府県から報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

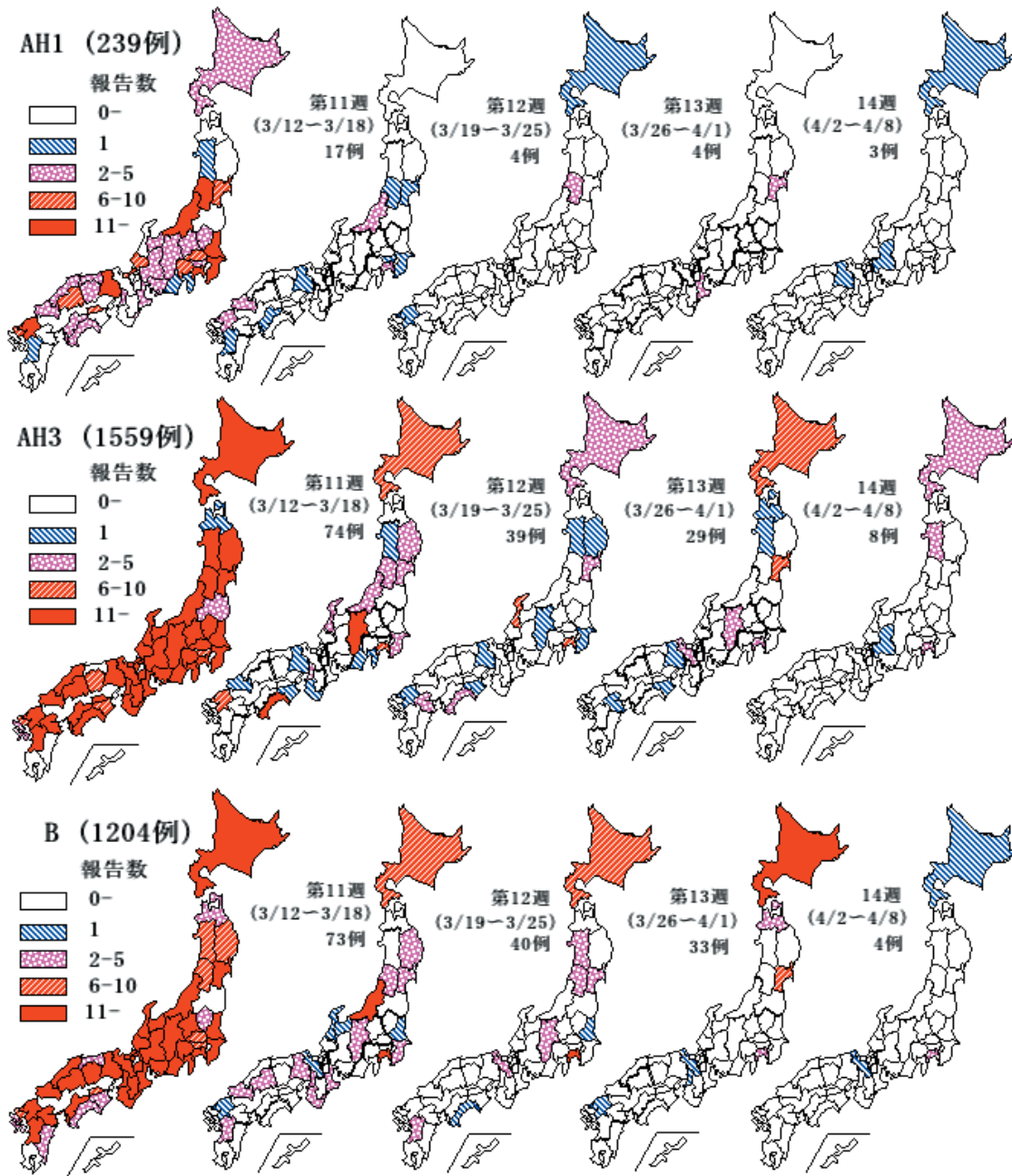
(病原微生物検出情報 : 2007年4月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
 (病原微生物検出情報：2007年4月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

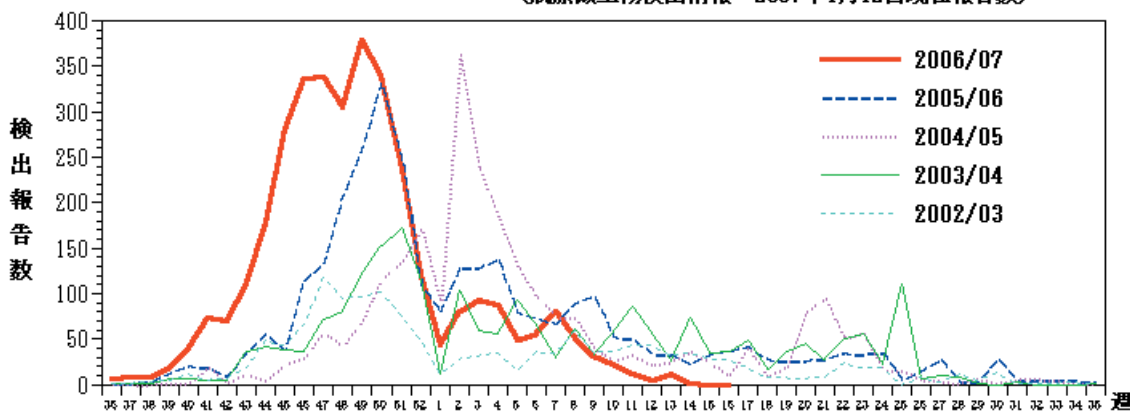
例年より早く2006年第40週よりノロウイルスgenogroup IIの報告が増加し、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが3,164件、genogroup Iが47件、サポウイルスが62件報告されている。

ノロウイルスgenogroup IIIは大阪府413件、神奈川県286件、滋賀県268件、岩手県259件、京都府247件、愛媛県207件、広島県174件、高知県120件、岡山県102件など40府県から報告されている。genogroup IIは香川県10件、大阪府5件など20府県から、サポウイルスは高知県16件、熊本県13件、神奈川県11件、愛媛県8件など12県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告も増加しており、これまでに2006年9月に6事例、10月に65事例、11月に328事例、12月に256事例、2007年1月に98事例、2月に56事例、3月に25事例、計834事例が報告されている(このうち10月の1事例、11月の2事例、12月の4事例、3月の1事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された225事例中213事例はGII/4と報告されている(本号16ページ「速報」参照)。他にはGII/2が9事例(11月4事例、12月1事例、1月2事例、2月1事例、3月1事例)、GII/6が1事例(11月)、GII/9が1事例(10月)、GII/13が1事例(2月)で検出されている。また、genogroup Iが11事例(10月、11月各1事例、12月3事例、1月2事例、2月3事例、3月1事例)で検出され、15事例(11月、12月の各5事例、1月の4事例、2月の1事例)のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月12日現在報告数)

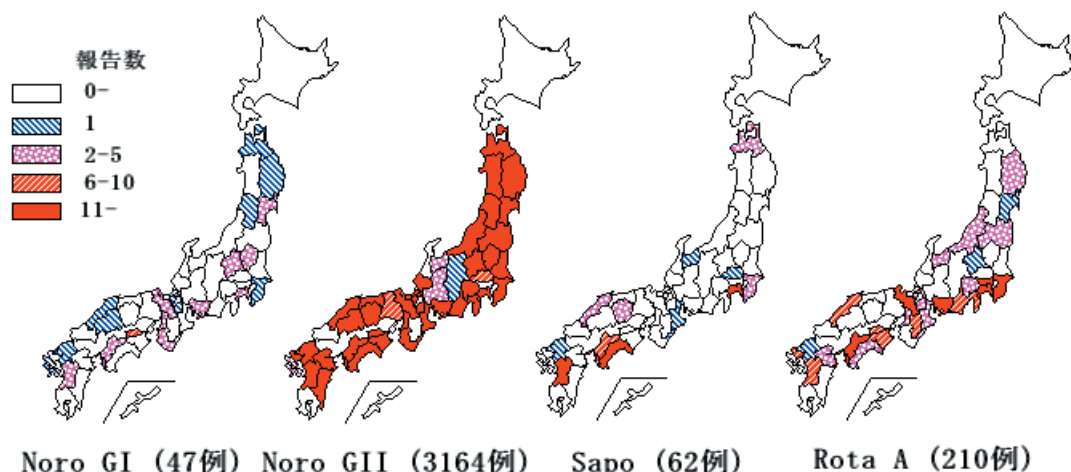


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月12日現在報告数)

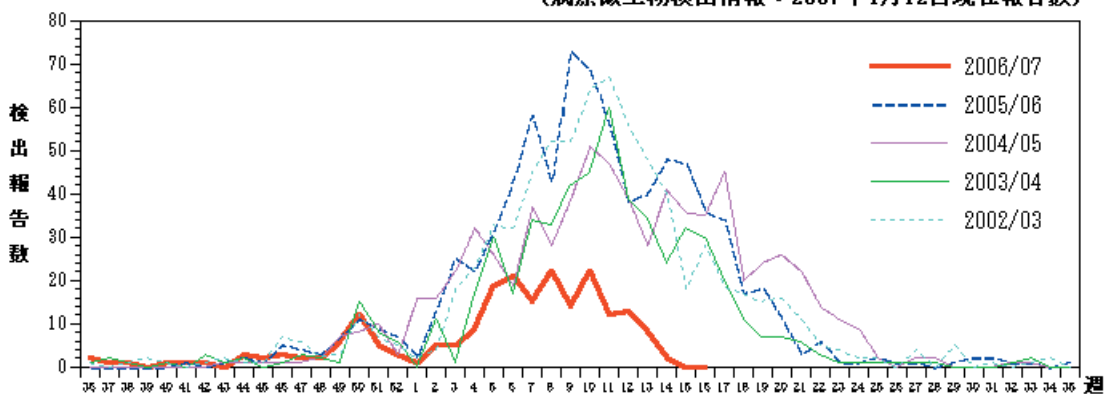


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した



一方、A群ロタウイルスは例年同様冬季から春季に報告が増加しつつあり、第36週からの累計では210件が、愛媛県28件、東京都22件、愛知県20件、千葉県19件、京都府18件、神奈川県13件、奈良県、熊本県各10件、静岡県、島根県、香川県、佐賀県各8件など26都府県から報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を因に示した。





腸チフス 2006年(2007年3月31日時点)

腸チフスはチフス菌(*Salmonella Typhi*)の感染によって起こる全身性疾患である。チフス菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の便と尿、およびそれらに汚染された食品、水、手指が感染源となる。通常は1～3週間の潜伏期の後、39～40℃の発熱が出現する。主要症状は高熱の持続で、他に特記すべき症状はないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現し、2～5日で消える)、脾腫が3主徴であるが、出現率は30～50%台とされる。便秘、時には下痢がみられることがある。合併症として腸出血、腸穿孔があるが、ニューキノロン系薬が使用されるようになってからは稀である。しかし最近、ニューキノロン系薬低感受性の症例の増加が問題となっている(病原微生物検出情報 IASR Vol. 26 No. 4 p89-90, 2005参照 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/26/302/dj3021.html>)。また、適切な治療がなされないと、再発・再燃や慢性のチフス菌保菌者になることがある。

腸チフスは1999年4月1日施行の感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届け出が、診断した全ての医師に義務づけられている(注)。過去の年間累積報告数は、2000年86例、2001年65例、2002年62例、2003年63例、2004年71例、2005年50例であり、2006年の報告数(診断週が2006年第1～52週のもので、2007年3月31日までに報告されたもの)は72例であり、過去6年間と比べ、2000年に次いで多かった(図1)。2006年の72例の報告のうち、疑似症が6例で、無症状病原体保有者は7例であった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する保健所等による調査などによって発見されたものである。

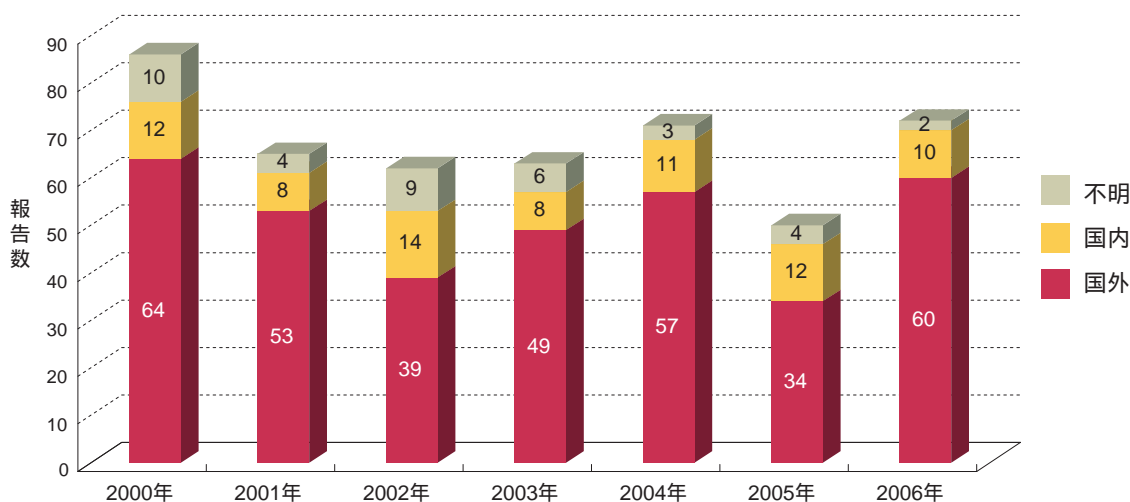


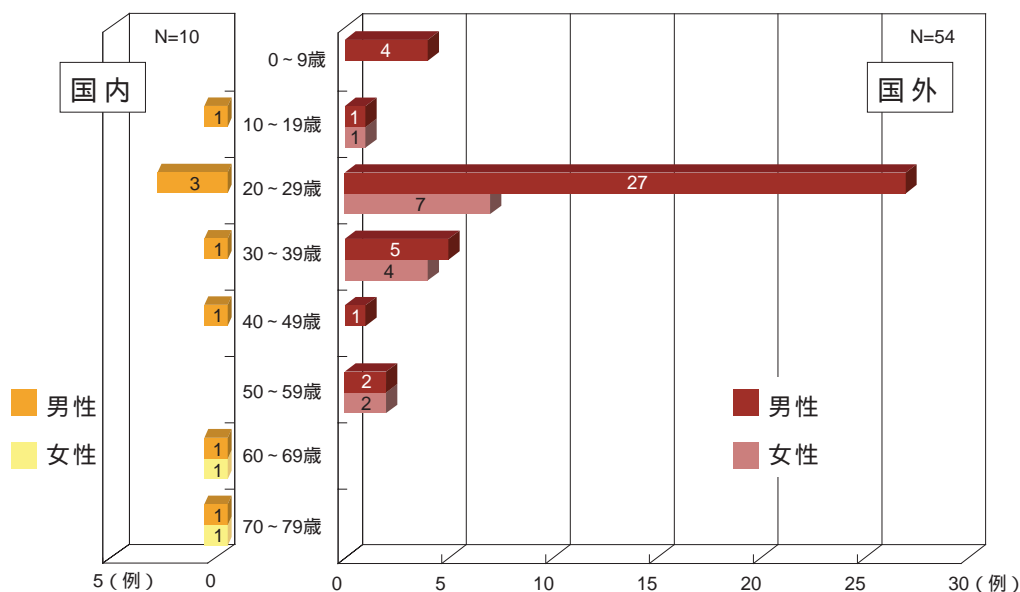
図1. 腸チフスの報告症例の年別・感染地域別推移

疑似症を除く66例は、男性49例、女性17例で、年齢中央値24歳(1～78歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内10例、国外54例、不明2例であった。死亡例の報告はなかった。

病原診断は細菌培養により行われているが、検体の種類をみると、患者(59例)では血液および便7例、血液および尿1例、血液のみ38例、便のみ11例、胆嚢摘出後のドレーン廃液1例、耳下腺炎症例の耳下腺穿刺液1例であった。無症状病原体保有者(7例)では便5例、尿1例、胆汁1例(他疾患のための検査として採取)であった。また、パラチフスとの混合感染(感染国:インドネシア)、ジアルジアとの混合感染(感染国:インド)が各1例報告された。

国内を推定感染地域とする10例(男性8例、女性2例)について年齢群別にみると、10代1例、20代3例、30代1例、40代1例、60代2例、70代2例(年齢中央値38歳)であった(図2)。患者6例のうち、発症日の記載があったものは5例であったが、発症月に明らかな傾向はみとめられなかった(図3)。また、いずれも散発例であり、感染源は特定されなかった。

国外を感染地域とする54例(男性40例、女性14例)について年齢群別にみると、10歳未満4例、10代2例、20代34例、30代9例、40代1例、50代4例(年齢中央値23.5歳)で、20代(特に男性)次いで30代が多く、これらで全体の80%を占めた(図2)。患者52例のうち、発症日の記載があった46例について発症月をみると、4月9例、1月7例)に多かった(図3)。また、感染地域別にみると、南アジアが38例で57%を占めた(インド31例、パキスタン2例、バングラデシュ1例、インド/ネパール3例、ネパール/バングラデシュ1例)。他は多い順に、東南アジアが11例(インドネシア8例、フィリピン2例、タイ1例)、南アジアまたは東南アジア4例(インド/タイ、バングラデシュ/シンガポール、インド/バングラデシュ/タイ、インド/ネパール/東南アジア各1例)、東アフリカ1例(マダガスカル)であった(図4)。



疑似症6例、感染地域不明2例を除く

図2. 腸チフスの報告症例の推定感染地域別・性別・年齢群別分布(2006年)

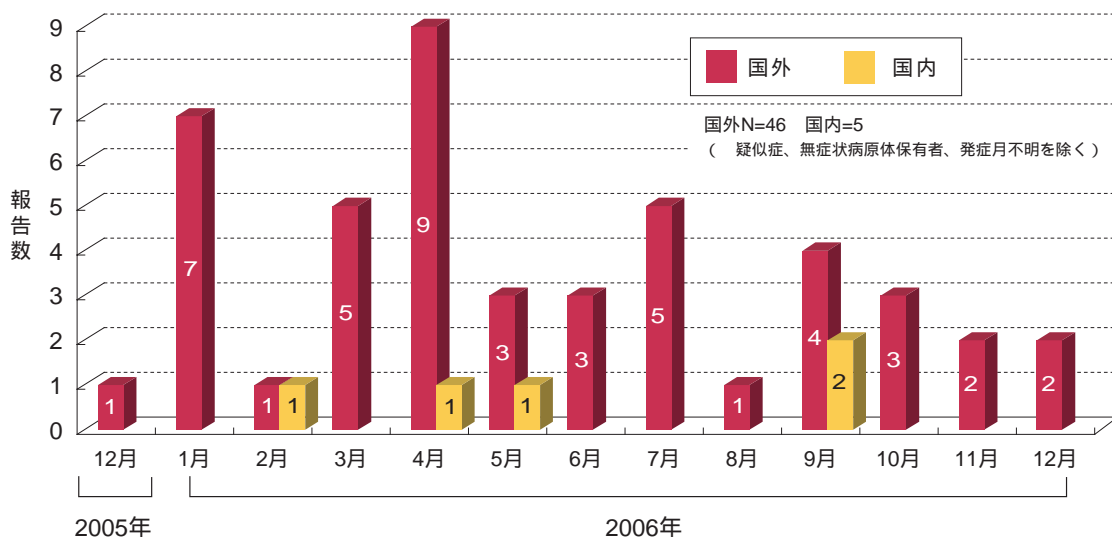


図3. 腸チフスの報告症例の推定感染地域別・発症月別分布(2005年12月～2006年)

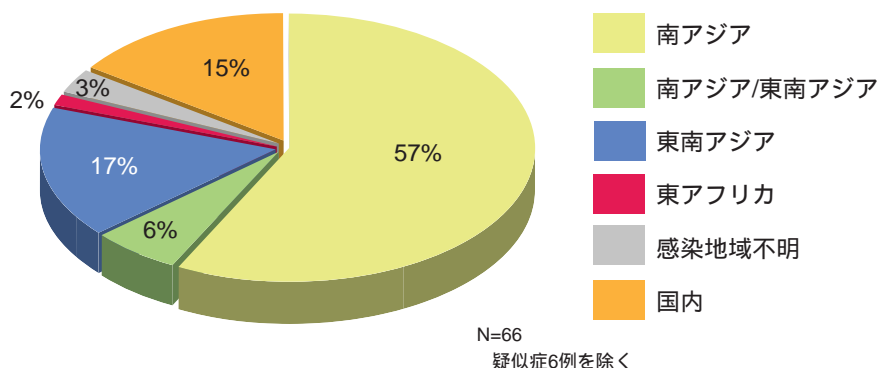


図4. 腸チフスの報告症例の推定感染地域の割合(2006年)

ワクチンとしては、欧米先進国では新世代の注射莢膜多糖体ワクチンおよび経口生ワクチンがあり、発展途上国への渡航者を対象に接種されている。しかし、わが国ではいずれも未承認である。

予防の基本は感染経路の遮断であり、特に流行地への渡航などでは生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要であり、手洗いの励行も重要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

(注)感染症法改正により、2007年4月1日から、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスは、腸管出血性大腸菌感染症と同じ三類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。

ノロウイルス感染による介護老人保健施設での集団発生事例 - 青森県

2007年1月に介護老人保健施設でノロウイルス(NV)による集団感染事例が発生したので、その概要を報告する。

弘前保健所に1月9日、管内の介護老人保健施設(入所者99名、職員65名、リハビリテーション通所者80～90名)から、施設内において嘔吐・下痢等の症状を呈する入所者が増えているという連絡が入った。保健所は直ちに食中毒および感染症を考慮して調査を行った。入所者の発症状況は1月6日に1名、7日2名の発症者であったが、8日には18名、9日10名とピークが見られた。また、その後の調査により、職員やリハビリテーション通所者も発症していることが判明した。11日以後は1日あたり5名前後の発症者があり、最終的に発症者は17日までに105名となった。

原因究明のための検査材料は、発症者10名(入所者9名、職員1名)、調理従事者15名(うち発症者2名)の糞便計25検体、厨房を中心としたふきとり6検体と、1月6日および7日の検食2検体であった。検食は2検体とも朝、昼、夕をプールして検査した。

NVの検出は、糞便はRT-PCR法と電子顕微鏡法により、ふきとりと検食はリアルタイムPCR法により行った。その結果、入所者および職員の発症者では全員から、調理従事者では15名中発症者2名を含む3名からNV genogroup II(NV GII)が検出された。ふきとりでは、盛り付け用調理台から実測値で平均256コピー、1月7日の検食からは実測値で平均27コピーのNV GII遺伝子が検出された。

NV GIIが検出されたふきとりおよび検食について、Nested PCRを行ったところ、盛り付け用調理台のふきとりからはPCR産物が得られたが、検食からは得られなかった。遺伝子解析は、ダイレクトシーケンス法により発症者由来8検体とふきとりの1検体について行い、8検体はすべてNV GII/4型類似株であり、ふきとりの1検体はNV GII/3型類似株であった。

調査の結果、保健所では、施設入所者においては排泄後の手洗いが不十分だったこと、職員が行った6日および7日発症者の吐物の処理において、手袋は着用していたが、塩素系消毒薬を使用しておらず、処理においても不完全であったことから、施設内においてNVが広い範囲に、しかも濃厚に拡散し、8日以降の多数の発症者の発生に繋がったものと推察した。また、施設の食事を喫食していない職員の発症が確認されたことなどから、食品を介した発症ではなく、接触感染による発症と判断した。

遺伝子解析については、発症者がNV GII/4型類似株で、盛り付け用調理台がNV GII/3型類似株であり、遺伝子型の一致がみられなかった。今シーズンは、全国の集団発生において検出されたNV遺伝子型はほとんどがGII/4型であり、盛り付け用調理台が、どのような経路により汚染されたかは不明である。現在、本事例以外の集団発生および散发事例についても解析を進めている。

青森県環境保健センター微生物部

熊谷邦彦 石川和子 三上稔之 阿部幸一

中南地域県民局地域健康福祉部保健総室(弘前保健所)

高橋優子 成田むつ子 安田準一 田鎖良樹

(IASR 2007年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年4月10日 - 更新14

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者2名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No.3(NAMRU-3)での検査により確認された。

1例目は、Menia行政地区の2歳少女で、4月3日に発症し、翌日入院した。少女の病状は現在安定している。感染源の初期調査では、最近自宅で飼っている鳥との接触があったことが示唆されている。2例目は、Cairo行政地区の15歳少女で3月30日に発症し、4月5日に入院。現在危篤状態である。

エジプトでは、現在までに感染が確認された34名の患者のうち13名が死亡している。

WHO/EPR 2007年4月11日 - 更新15

エジプト保健人口省は、Cairo行政地区の15歳少女が4月10日に死亡したことを発表した。

エジプトでは、現在までに感染が確認された34名の患者のうち14名が死亡している。

カンボジアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年4月10日

カンボジア保健省は、国内で7例目の鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者を発表した。この症例は、2007年にカンボジアにおいて確認された初めての患者である。

Kampong Cham県Ponhea Kreak地区の13歳少女が4月2日に発症し、翌日入院した。患者は4月5日に死亡した。少女から採取された検体はプノンペンにあるパスツール研究所での検査でH5N1陽性であった。

少女の感染源の初期調査では、この数週間にこの村で病鳥や死鳥の発生があったことや少女が発症の前に病鳥を食べたことが示唆されている。保健省、WHOおよびパスツール研究所からの対策チームは、少女との濃厚接触者を追跡調査し、この地区で鳥インフルエンザに関する意識向上活動を行っている。

カンボジアでは、現在まで感染が確認された7名全員が死亡している。



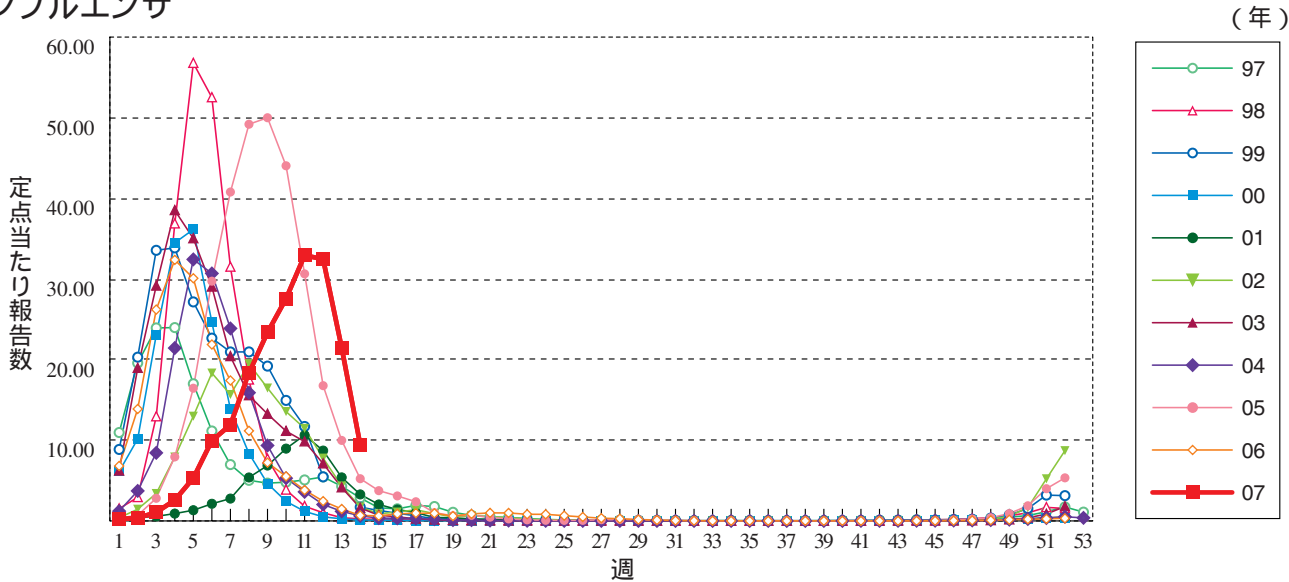
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

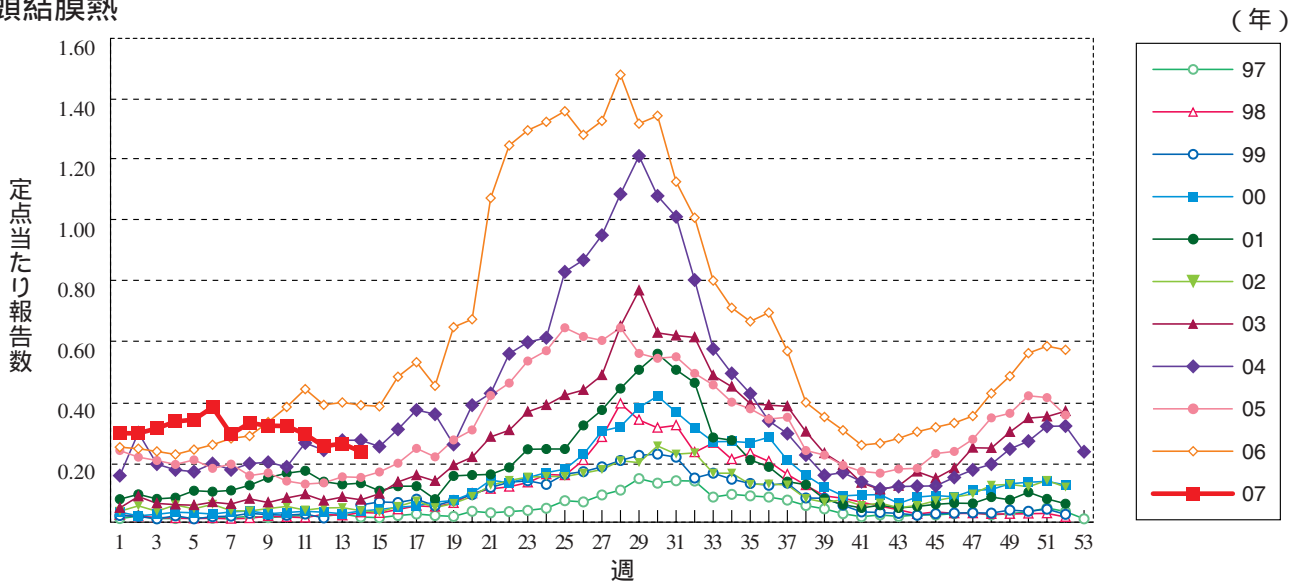


グラフ総覧(14週)

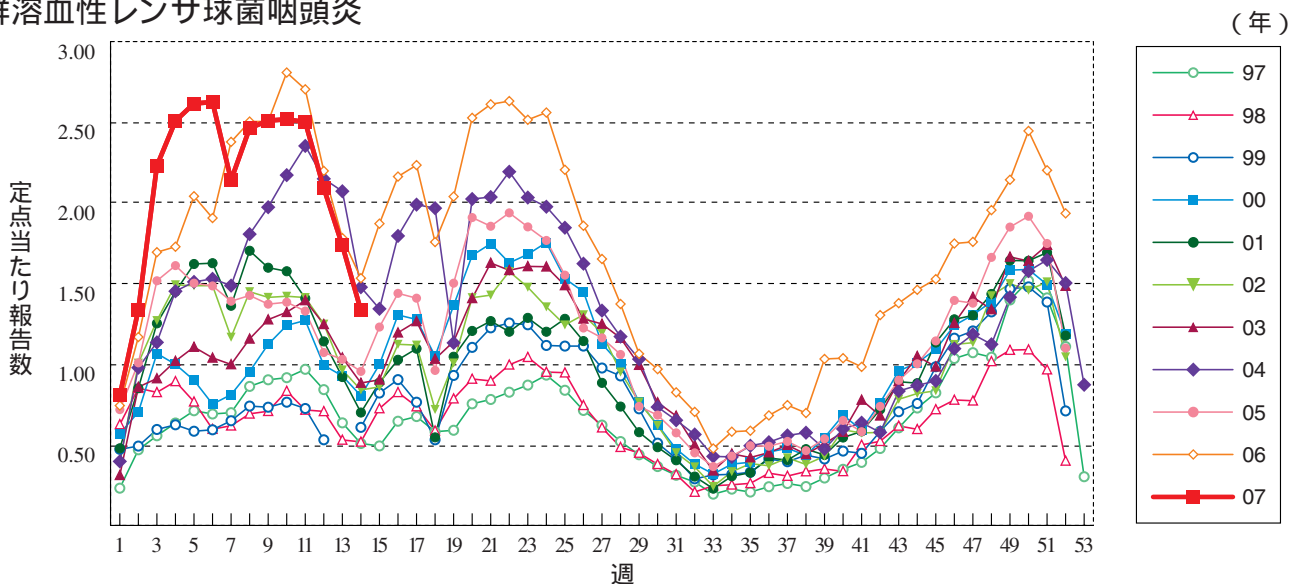
インフルエンザ



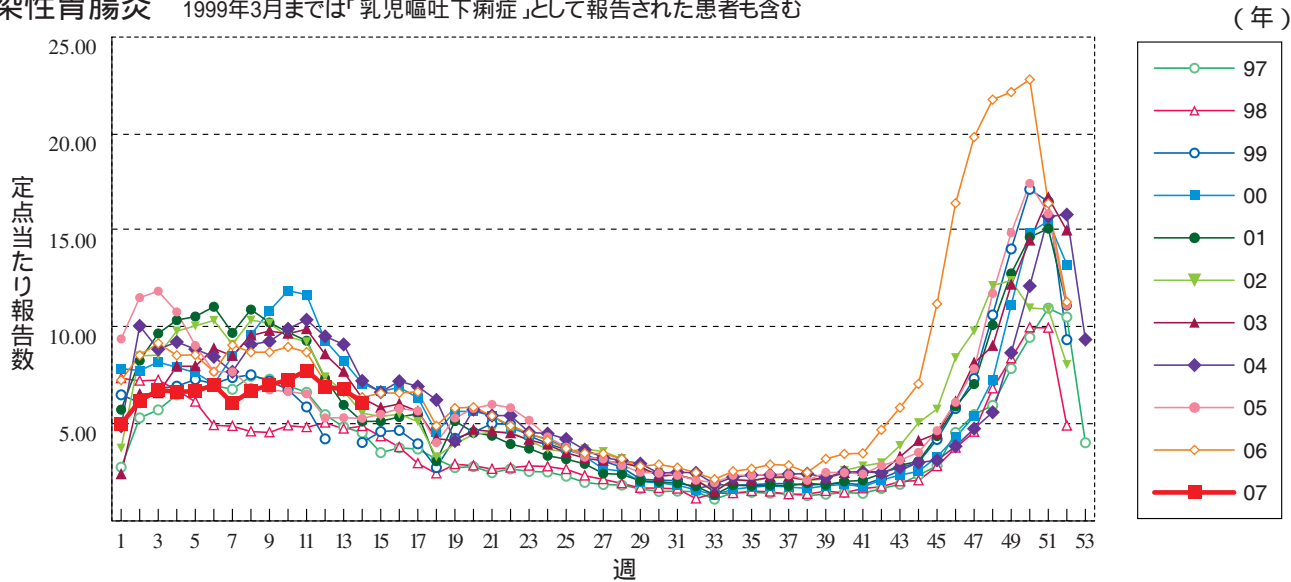
咽頭結膜熱



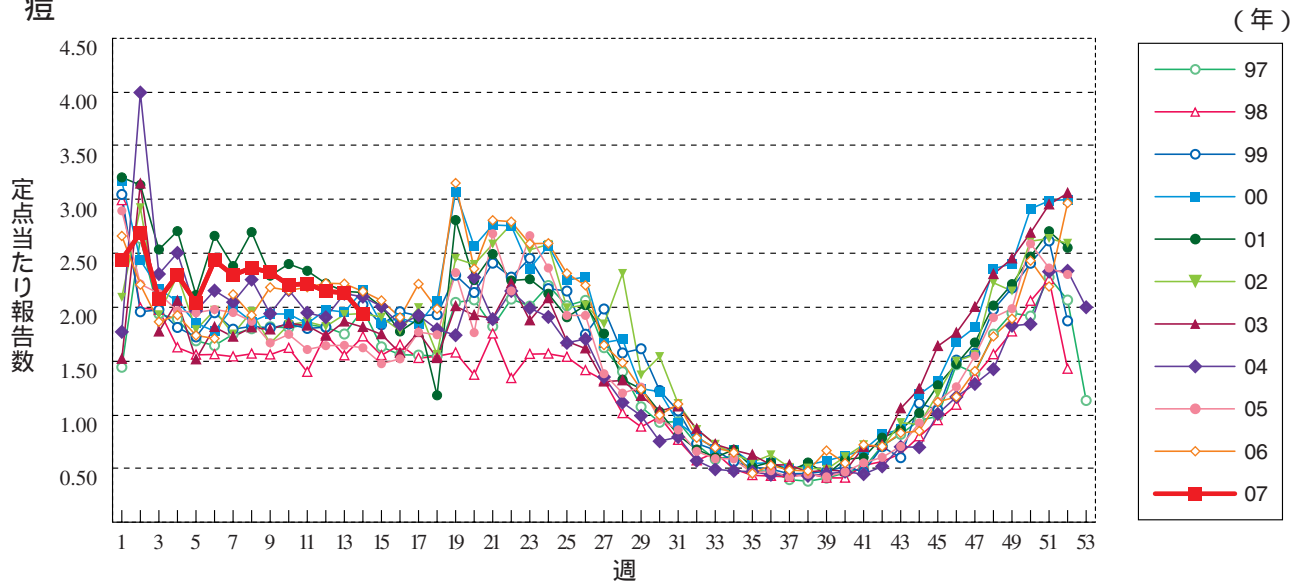
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



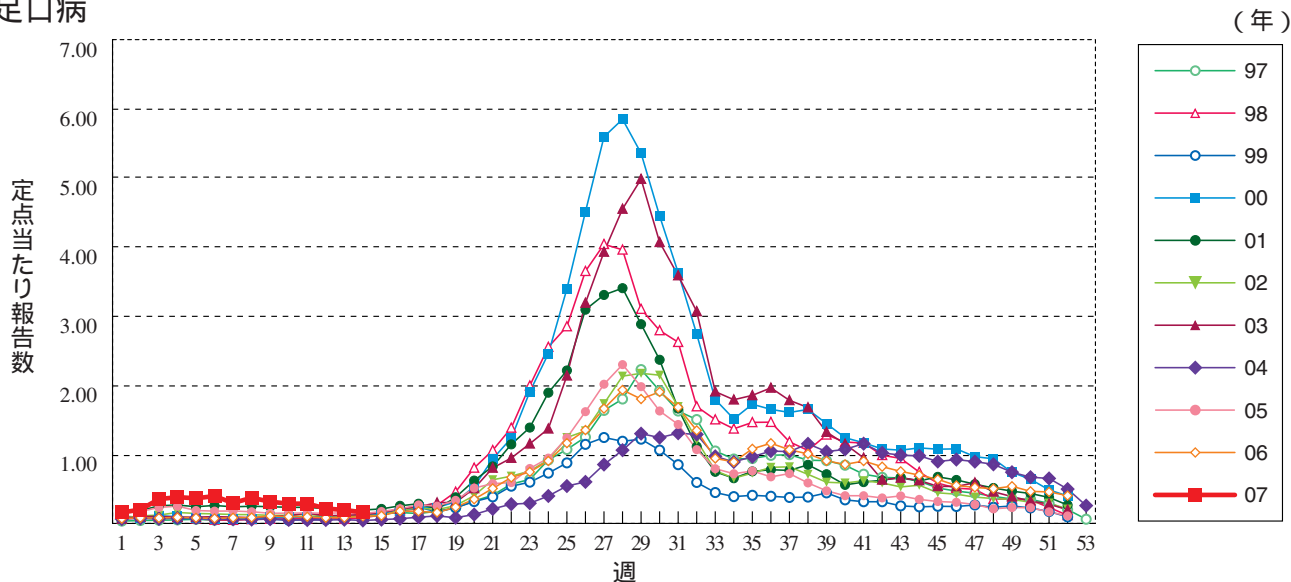
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



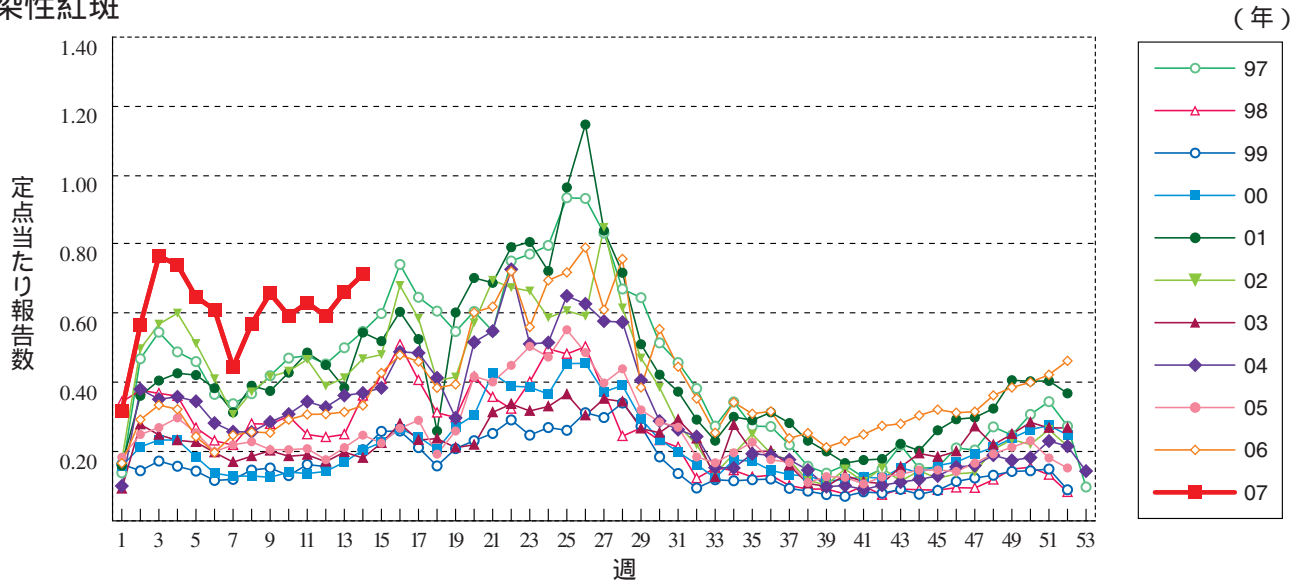
水痘



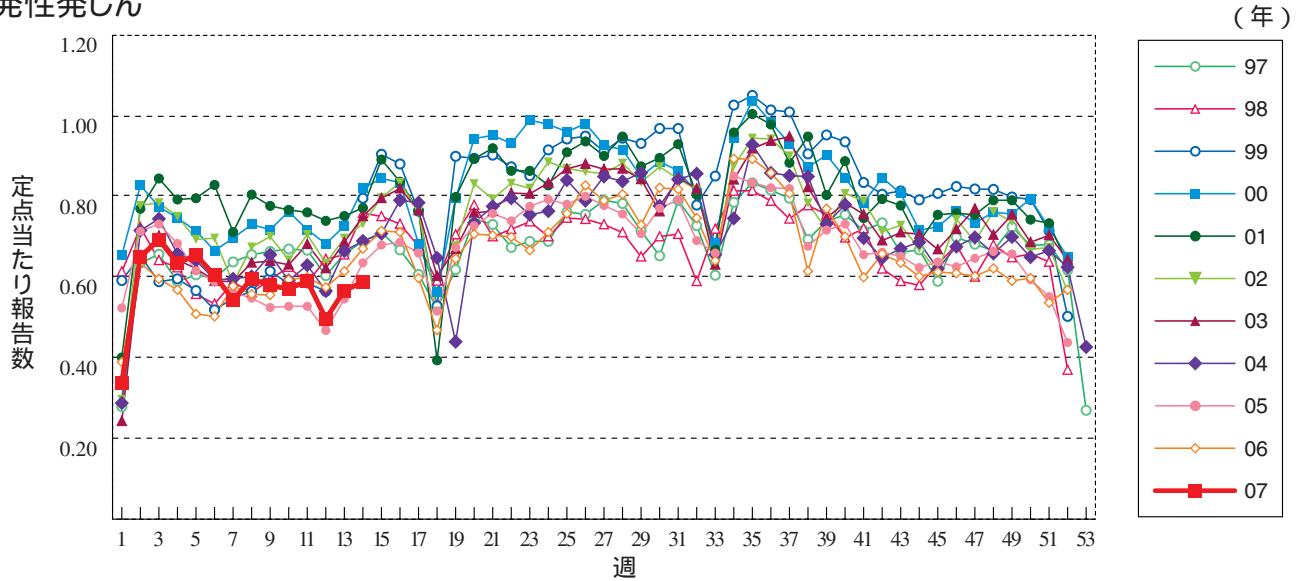
手足口病



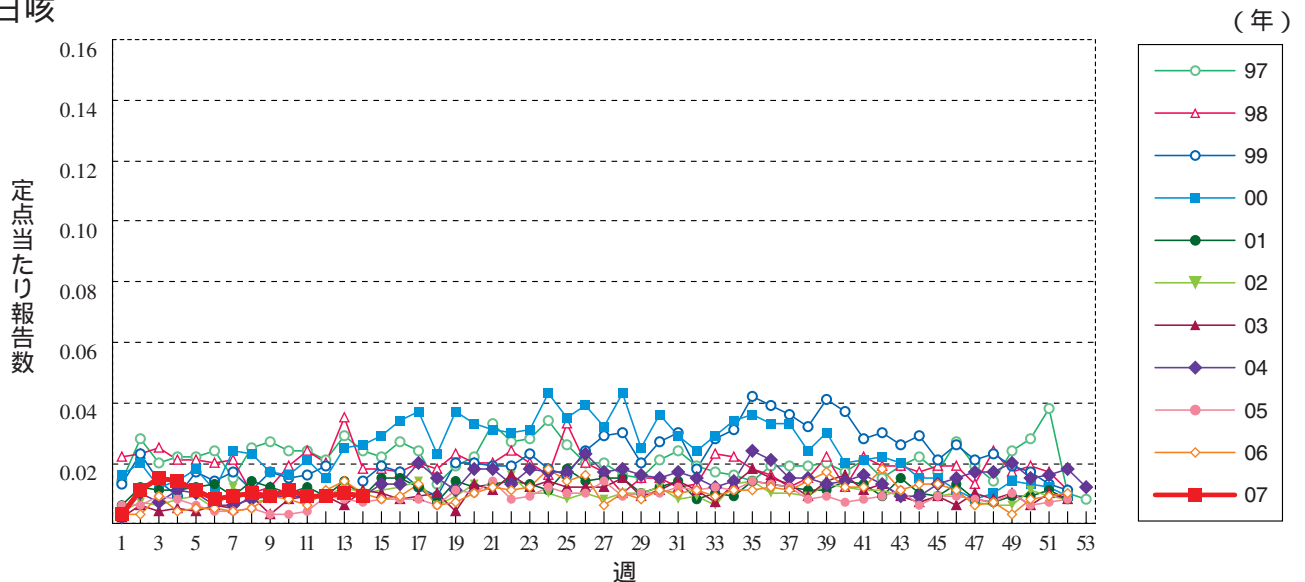
伝染性紅斑



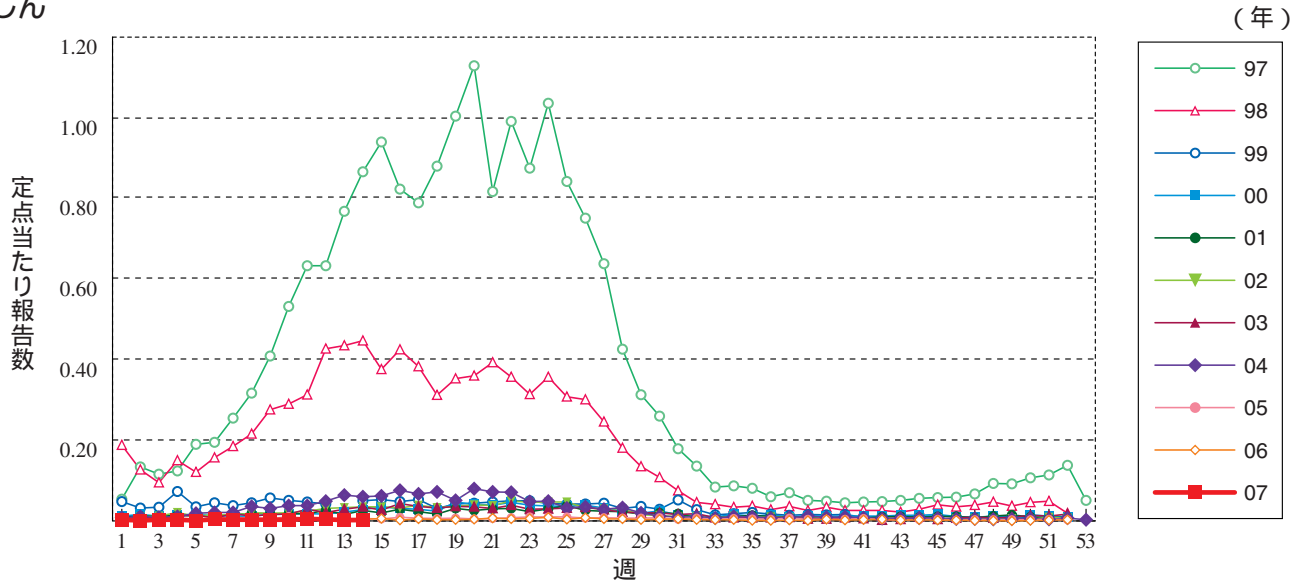
突発性発しん



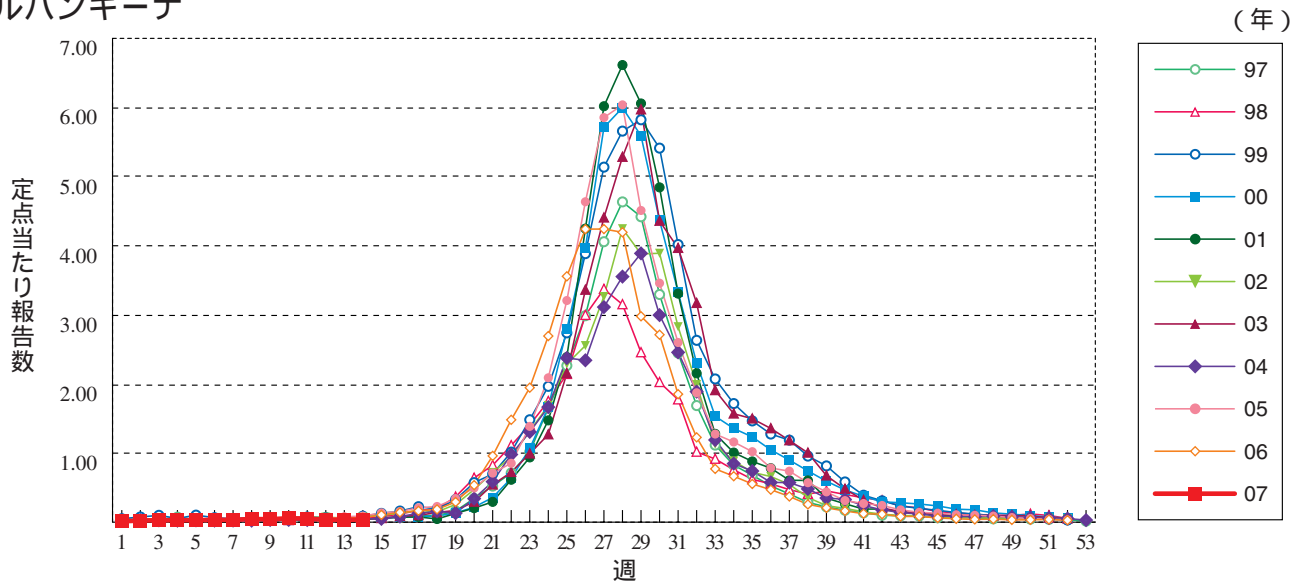
百日咳



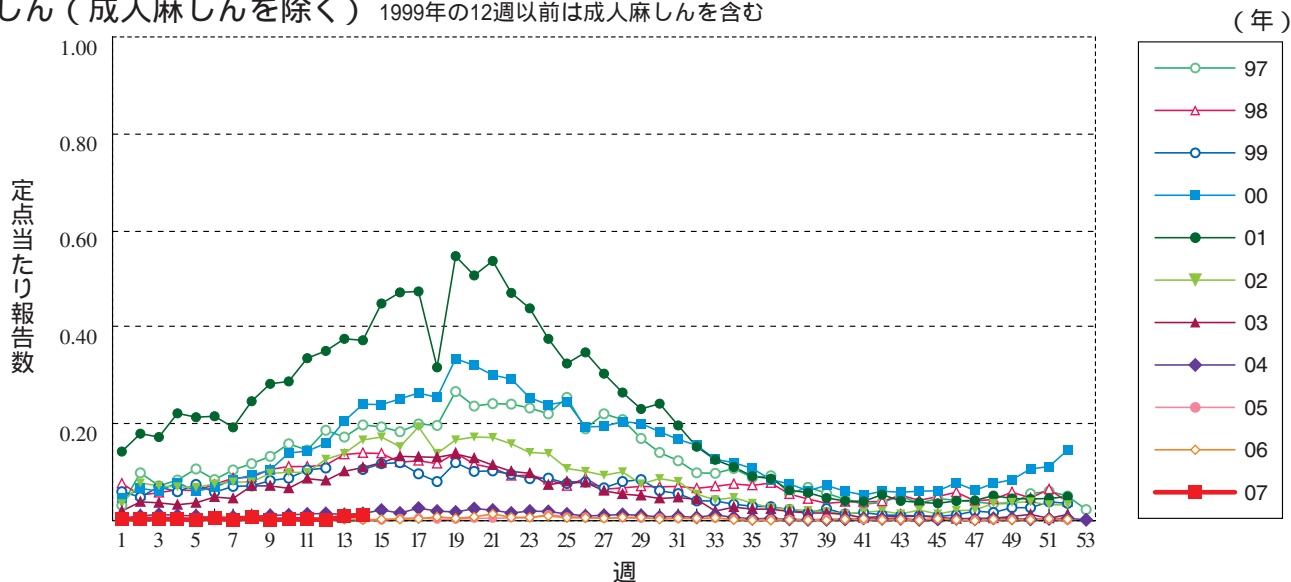
風しん



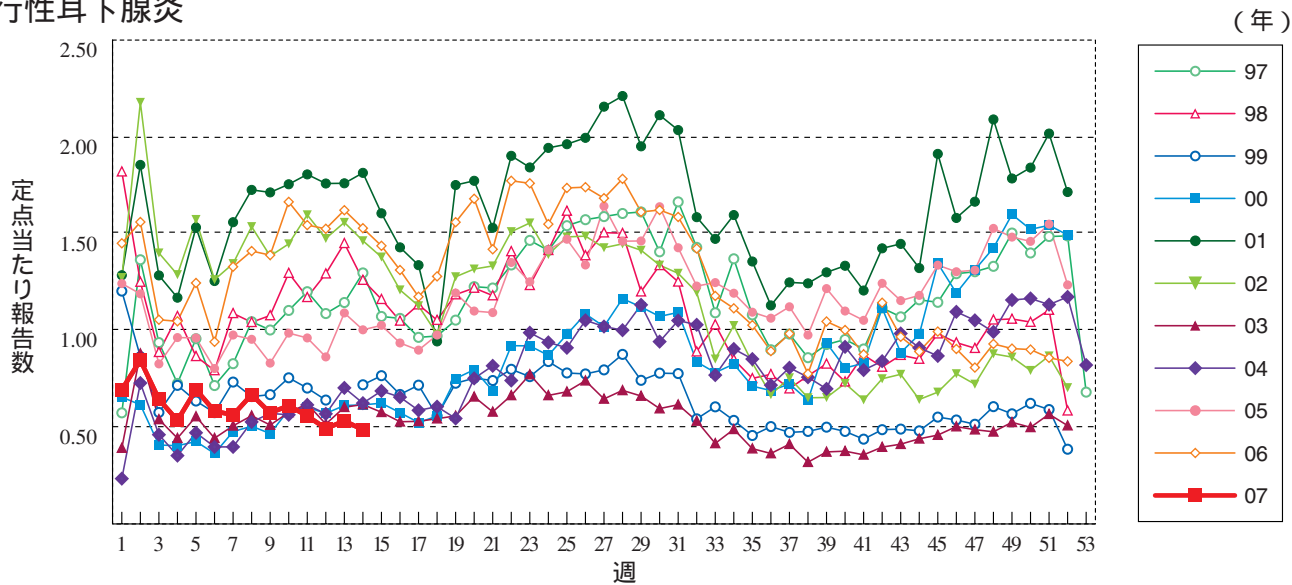
ヘルパンギーナ



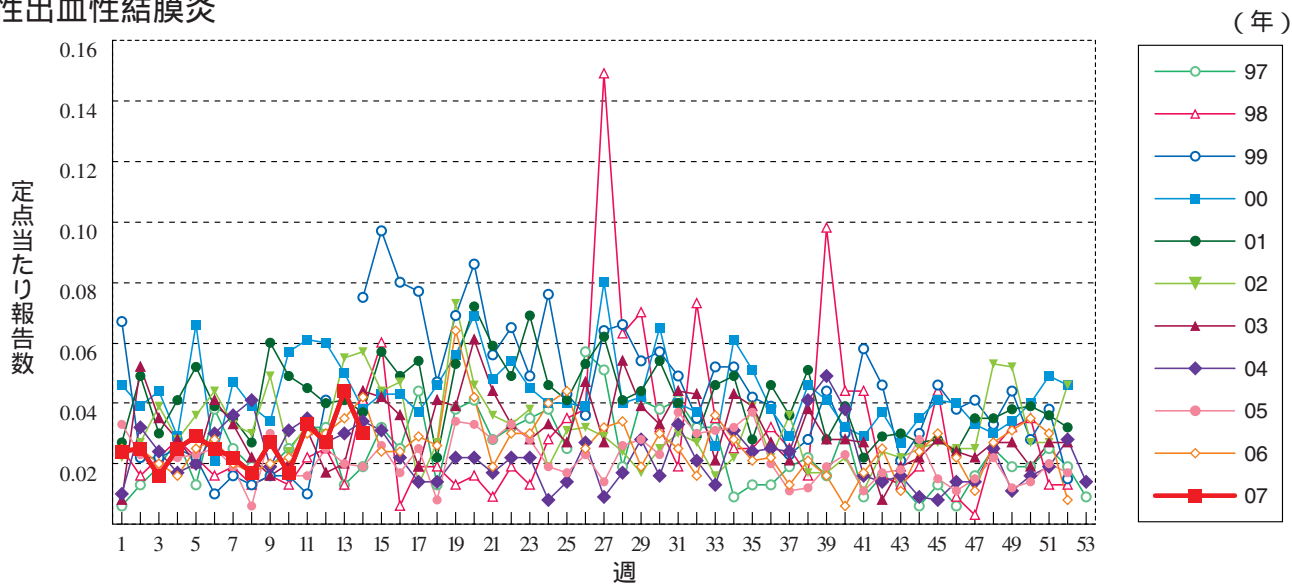
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



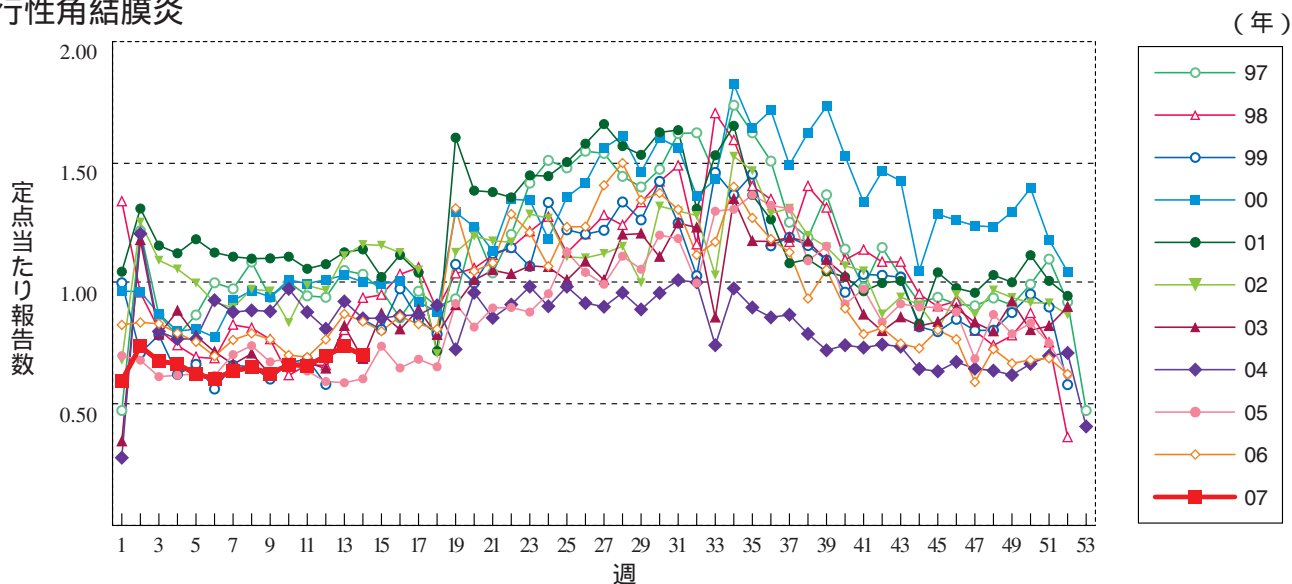
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

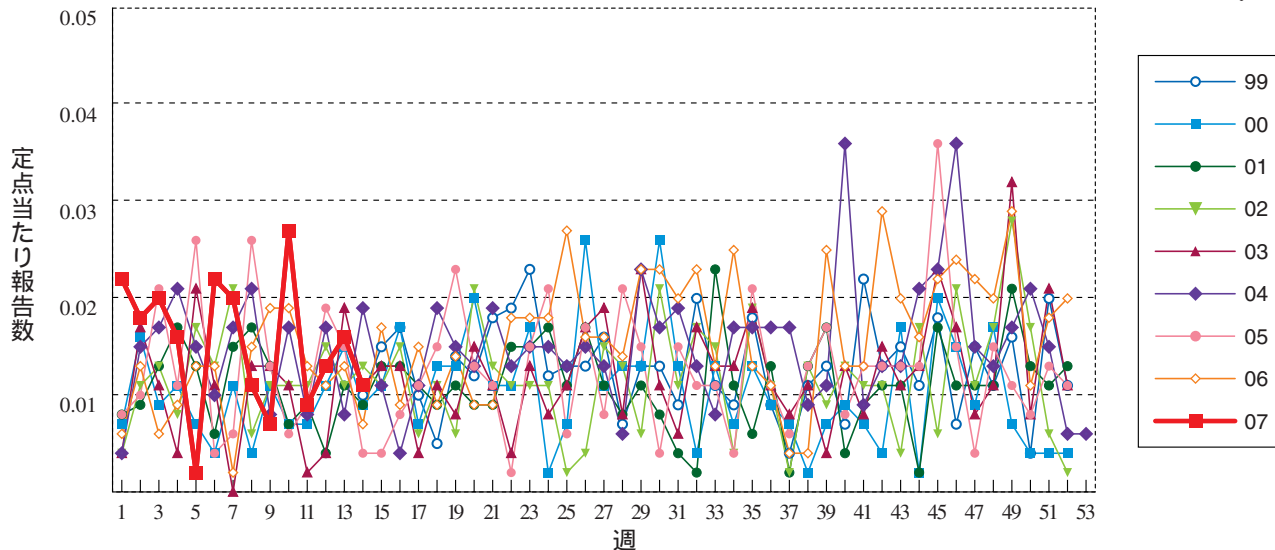


流行性角結膜炎



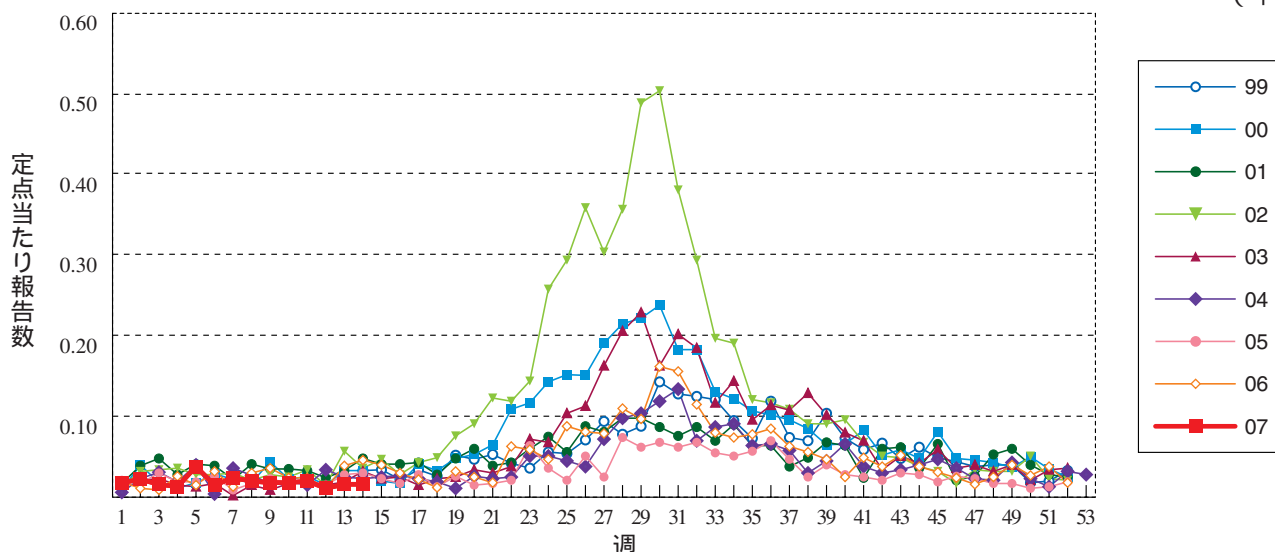
細菌性髄膜炎

(年)



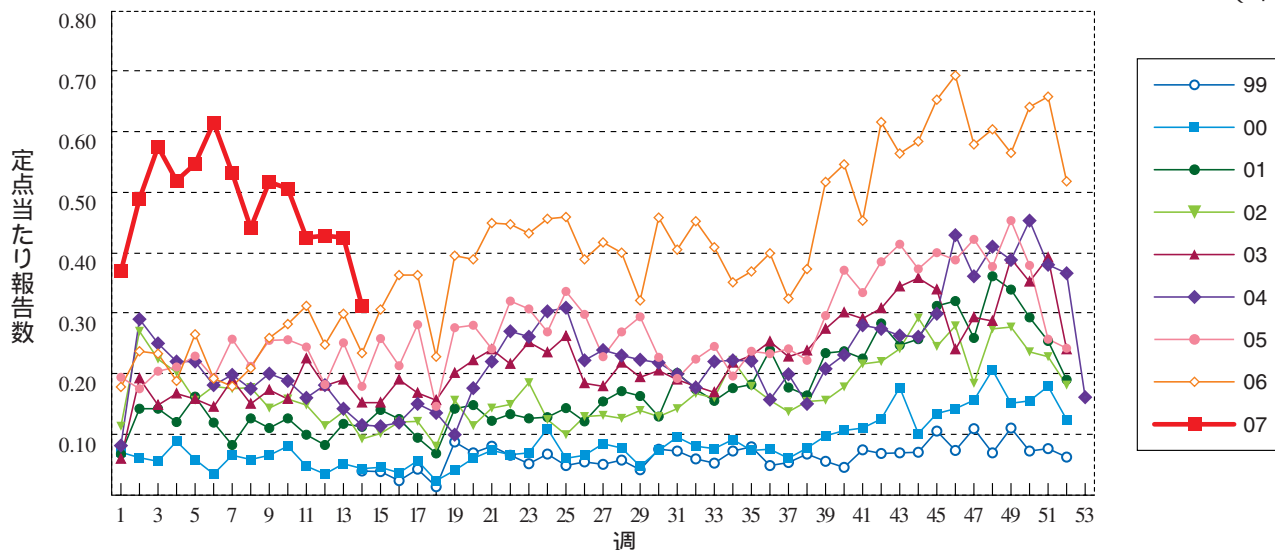
無菌性髄膜炎

(年)



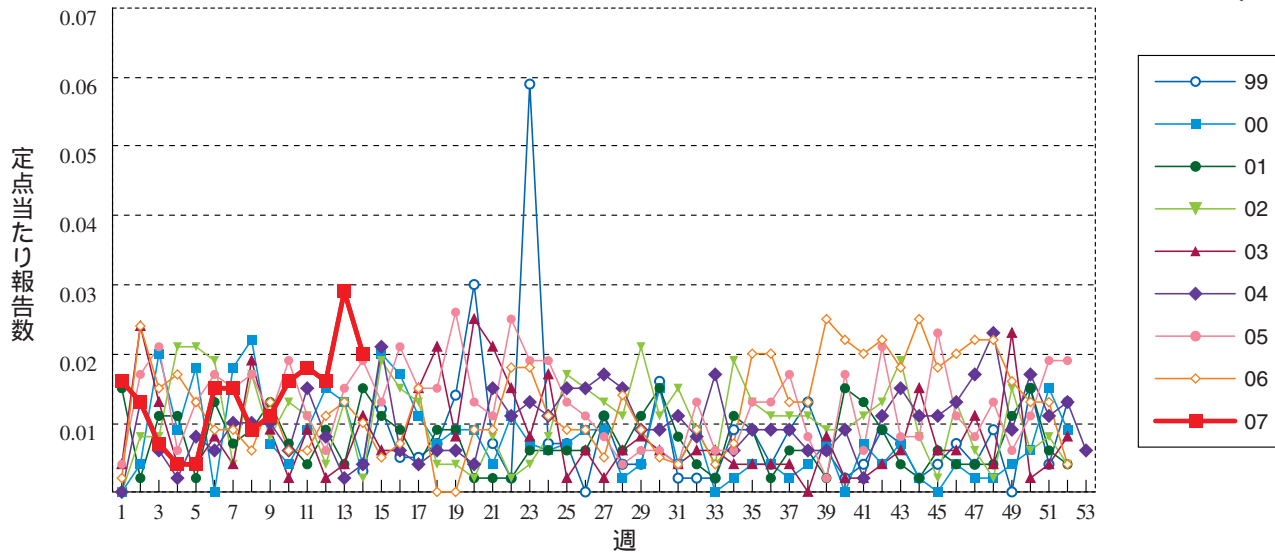
マイコプラズマ肺炎

(年)



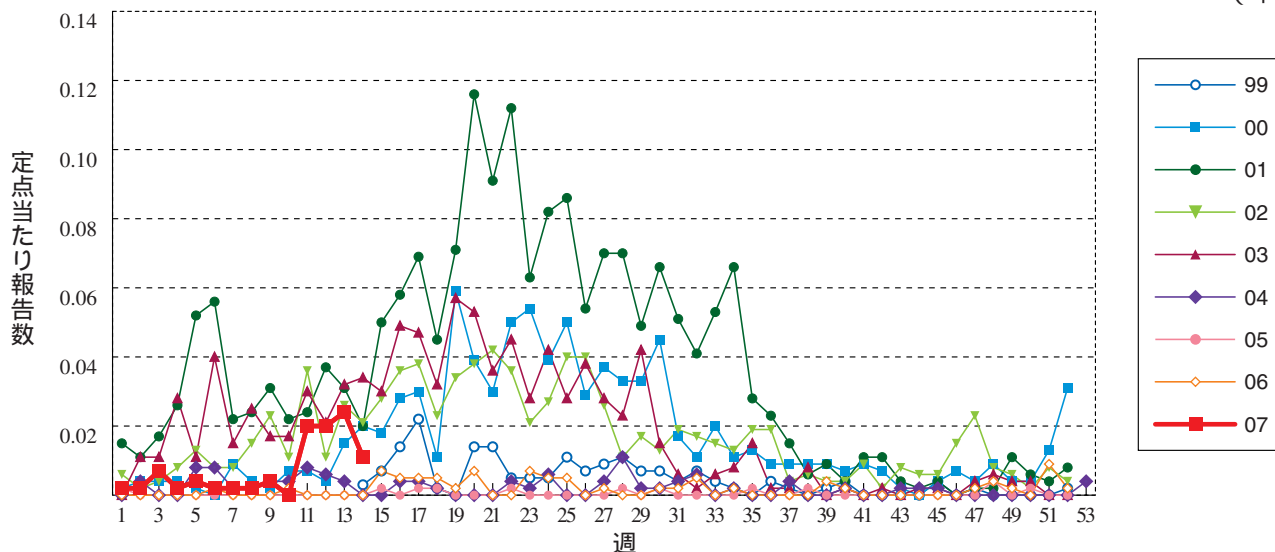
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



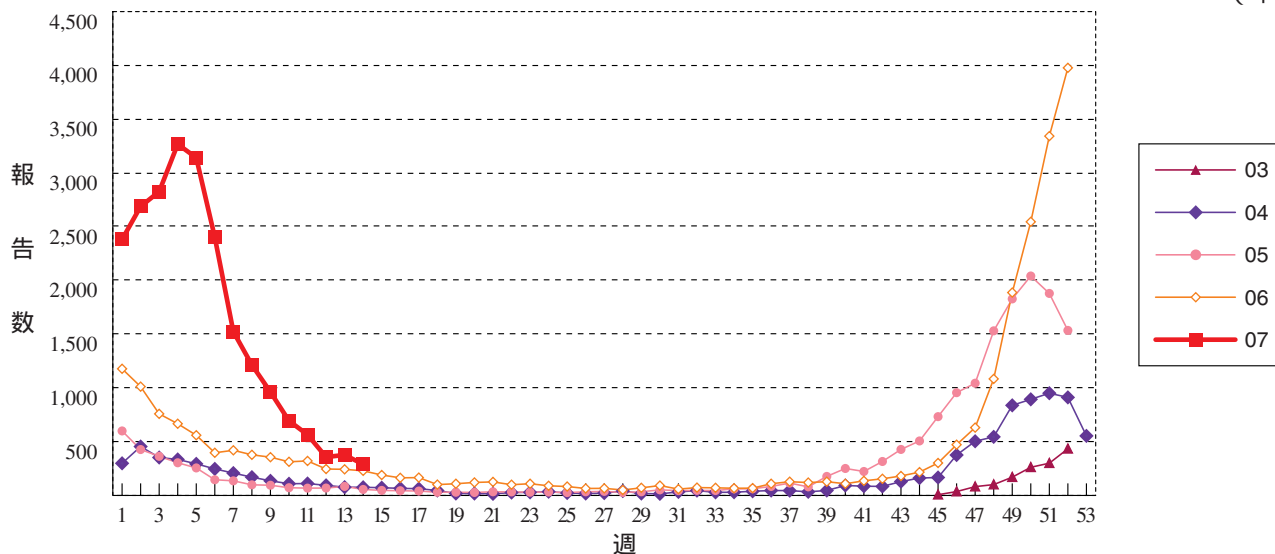
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





14週のデータ

注1) 表中の報告数は4月12日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年14週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	48
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	3	6	132	16	178	-	9	-	4	1	16	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	1	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	26	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	14	-	4	-	1	-	1	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	36	-	15	-	2	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	41	-	4	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	7	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	1	13	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2007年14週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類 鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年14週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	95	-	1	-	-	9	187	1	33	2	54	-	1	-	42	-	33
北海道	-	7	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
福島県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-	-	5	-	-	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	1	-	2
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8	-	-	-	3	-	1
東京都	-	3	-	-	-	-	-	34	-	9	-	-	-	-	-	1	-	2
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	25	-	-	-	2	-	-	-	1	-	4
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	3	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	-	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-	-	2	-	3
三重県	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	1	6	-	-	-	-	1	20	-	5	-	7	-	-	-	2	-	2
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	9	-	2	-	3	-	-	-	1	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1
山口県	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	3	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	4	-	-	-	-	1	6	-	3	-	2	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ(H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	8	299	1	11	-	4	-	-	5	119	-	14	-	-	2	21	-	-
北海道	1	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	1	2	-	-
千葉県	1	13	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	80	-	3	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	-
神奈川県	-	30	1	3	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	2	31	-	-	-	1	-	-	1	12	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	42	-	4	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	1	2	-	-
奈良県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	44813	9.44	702	0.23	4023	1.33	18458	6.12	5832	1.93	486	0.16	2152	0.71	1774	0.59	27	0.01
北海道	2610	11.60	25	0.18	319	2.26	287	2.04	229	1.62	16	0.11	253	1.79	74	0.52	-	-
青森県	1465	22.54	20	0.48	69	1.64	99	2.36	62	1.48	2	0.05	30	0.71	18	0.43	-	-
岩手県	835	13.25	4	0.10	34	0.87	84	2.15	68	1.74	1	0.03	44	1.13	10	0.26	-	-
宮城県	960	9.90	8	0.13	63	1.05	377	6.28	79	1.32	2	0.03	60	1.00	46	0.77	-	-
秋田県	658	11.96	9	0.26	67	1.91	145	4.14	38	1.09	2	0.06	48	1.37	16	0.46	1	0.03
山形県	406	8.46	22	0.73	65	2.17	211	7.03	52	1.73	5	0.17	16	0.53	34	1.13	-	-
福島県	697	8.71	10	0.21	70	1.46	293	6.10	89	1.85	16	0.33	17	0.35	35	0.73	-	-
茨城県	716	6.28	10	0.14	111	1.52	250	3.42	119	1.63	16	0.22	11	0.15	18	0.25	1	0.01
栃木県	532	7.29	6	0.13	50	1.06	154	3.28	58	1.23	12	0.26	61	1.30	24	0.51	3	0.06
群馬県	1012	10.22	1	0.02	123	2.02	349	5.72	128	2.10	4	0.07	58	0.95	56	0.92	-	-
埼玉県	2567	10.31	35	0.22	319	2.02	1184	7.49	379	2.40	25	0.16	86	0.54	112	0.71	-	-
千葉県	1435	7.03	23	0.18	211	1.65	585	4.57	248	1.94	7	0.05	119	0.93	80	0.63	8	0.06
東京都	1603	5.70	34	0.23	180	1.23	777	5.32	195	1.34	7	0.05	72	0.49	76	0.52	5	0.03
神奈川県	2081	6.76	41	0.21	249	1.26	1084	5.47	374	1.89	16	0.08	114	0.58	140	0.71	1	0.01
新潟県	1282	13.35	13	0.21	138	2.26	213	3.49	123	2.02	2	0.03	71	1.16	45	0.74	-	-
富山県	544	11.33	24	0.83	118	4.07	228	7.86	80	2.76	2	0.07	75	2.59	13	0.45	-	-
石川県	642	13.38	15	0.52	80	2.76	214	7.38	59	2.03	-	-	74	2.55	14	0.48	-	-
福井県	496	15.50	4	0.18	41	1.86	314	14.27	44	2.00	7	0.32	31	1.41	11	0.50	-	-
山梨県	493	12.33	-	-	48	2.00	70	2.92	20	0.83	2	0.08	5	0.21	4	0.17	-	-
長野県	985	11.19	9	0.16	37	0.67	295	5.36	92	1.67	5	0.09	79	1.44	31	0.56	-	-
岐阜県	768	8.83	6	0.11	23	0.43	157	2.96	44	0.83	-	-	52	0.98	21	0.40	2	0.04
静岡県	869	6.53	8	0.09	59	0.69	533	6.20	172	2.00	3	0.03	97	1.13	56	0.65	1	0.01
愛知県	1813	9.35	39	0.22	215	1.19	1117	6.17	342	1.89	4	0.02	96	0.53	116	0.64	-	-
三重県	670	9.18	13	0.29	58	1.29	418	9.29	74	1.64	5	0.11	28	0.62	21	0.47	-	-
滋賀県	440	8.30	4	0.13	20	0.63	250	7.81	45	1.41	2	0.06	39	1.22	15	0.47	-	-
京都府	648	5.27	5	0.07	52	0.69	376	5.01	79	1.05	5	0.07	24	0.32	33	0.44	-	-
大阪府	1645	5.77	46	0.24	212	1.10	1513	7.88	341	1.78	10	0.05	137	0.71	91	0.47	2	0.01
兵庫県	1403	7.05	42	0.33	89	0.69	922	7.15	261	2.02	14	0.11	68	0.53	72	0.56	-	-
奈良県	291	5.39	7	0.20	19	0.54	281	8.03	42	1.20	2	0.06	29	0.83	11	0.31	-	-
和歌山県	264	5.28	8	0.26	10	0.32	156	5.03	89	2.87	3	0.10	21	0.68	21	0.68	-	-
鳥取県	254	8.76	11	0.58	35	1.84	130	6.84	24	1.26	-	-	2	0.11	11	0.58	-	-
島根県	359	9.45	15	0.65	32	1.39	174	7.57	41	1.78	2	0.09	8	0.35	4	0.17	-	-
岡山県	829	10.49	12	0.22	41	0.76	399	7.39	89	1.65	6	0.11	20	0.37	22	0.41	-	-
広島県	1282	11.15	37	0.51	101	1.40	499	6.93	83	1.15	10	0.14	18	0.25	34	0.47	1	0.01
山口県	1045	14.93	16	0.33	113	2.31	386	7.88	98	2.00	3	0.06	32	0.65	40	0.82	-	-
徳島県	406	10.15	2	0.09	20	0.91	164	7.45	32	1.45	-	-	4	0.18	7	0.32	-	-
香川県	397	8.27	3	0.10	21	0.72	177	6.10	45	1.55	2	0.07	11	0.38	17	0.59	-	-
愛媛県	541	8.87	1	0.03	63	1.70	381	10.30	130	3.51	-	-	35	0.95	44	1.19	-	-
高知県	462	9.63	1	0.03	25	0.83	187	6.23	55	1.83	2	0.07	15	0.50	13	0.43	-	-
福岡県	2123	10.72	37	0.31	109	0.91	1138	9.48	281	2.34	49	0.41	28	0.23	87	0.73	2	0.02
佐賀県	433	11.10	7	0.30	18	0.78	128	5.57	76	3.30	31	1.35	4	0.17	26	1.13	-	-
長崎県	932	13.31	14	0.32	14	0.32	233	5.30	78	1.77	44	1.00	12	0.27	19	0.43	-	-
熊本県	1099	13.74	10	0.21	74	1.54	361	7.52	105	2.19	38	0.79	2	0.04	40	0.83	-	-
大分県	722	12.45	15	0.42	33	0.92	342	9.50	91	2.53	13	0.36	10	0.28	27	0.75	-	-
宮崎県	984	16.68	6	0.17	79	2.19	457	12.69	197	5.47	46	1.28	16	0.44	31	0.86	-	-
鹿児島県	821	8.83	22	0.39	84	1.50	301	5.38	225	4.02	41	0.73	13	0.23	23	0.41	-	-
沖縄県	1294	22.31	2	0.06	12	0.35	65	1.91	157	4.62	2	0.06	7	0.21	15	0.44	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6	0.00	109	0.04	32	0.01	1469	0.49	20	0.03	467	0.70	5	0.01	7	0.02	141	0.31
北海道	-	-	1	0.01	-	-	39	0.28	-	-	22	0.76	-	-	-	-	1	0.05
青森県	-	-	-	-	-	-	49	1.17	-	-	7	0.64	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	10	0.26	-	-	35	0.90	-	-	2	0.17	-	-	-	-	9	0.45
宮城県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	40	0.67	-	-	2	0.17	-	-	-	-	6	0.50
秋田県	-	-	-	-	-	-	63	1.80	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	3	0.38	-	-	1	0.10	5	0.50
福島県	-	-	1	0.02	-	-	16	0.33	-	-	9	0.75	-	-	-	-	12	1.71
茨城県	-	-	1	0.01	1	0.01	16	0.22	1	0.06	21	1.31	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	-	-	-	-	1	0.02	17	0.36	-	-	6	0.50	-	-	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	1	0.02	1	0.02	38	0.62	-	-	28	2.00	-	-	-	-	9	1.13
埼玉県	1	0.01	-	-	12	0.08	28	0.18	4	0.10	36	0.86	-	-	-	-	16	1.78
千葉県	1	0.01	2	0.02	-	-	37	0.29	1	0.03	31	1.00	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	2	0.01	6	0.04	33	0.23	5	0.13	22	0.56	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	3	0.02	4	0.02	53	0.27	2	0.05	60	1.46	-	-	-	-	2	0.25
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	90	1.48	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	2	0.17
富山県	1	0.03	-	-	-	-	18	0.62	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	9	0.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	1	0.05	-	-	3	0.14	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	2	0.08	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	-	-	-	-	31	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	2	0.04	-	-	4	0.36	-	-	-	-	1	0.20
静岡県	-	-	4	0.05	-	-	44	0.51	-	-	9	0.45	-	-	2	0.22	6	0.67
愛知県	-	-	3	0.02	2	0.01	50	0.28	2	0.06	7	0.21	-	-	-	-	3	0.27
三重県	-	-	1	0.02	-	-	67	1.49	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	20	0.63	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	1	0.01	1	0.01	19	0.25	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	8	0.04	1	0.01	75	0.39	-	-	22	0.52	-	-	2	0.15	14	1.08
兵庫県	1	0.01	5	0.04	2	0.02	99	0.77	-	-	17	0.49	-	-	-	-	1	0.09
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	8	0.23	-	-	3	0.33	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	20	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	-	-	4	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00
島根県	-	-	2	0.09	-	-	24	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	6	0.11	-	-	52	0.96	-	-	16	1.33	-	-	-	-	5	1.00
広島県	-	-	14	0.19	-	-	23	0.32	-	-	23	1.21	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	1	0.02	-	-	6	0.12	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	-	-	-	-	8	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.07	-	-	13	0.45	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	25	0.68	-	-	24	3.00	1	0.17	-	-	1	0.17
高知県	-	-	-	-	-	-	55	1.83	-	-	3	1.00	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	-	-	8	0.07	-	-	87	0.73	-	-	8	0.31	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	8	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	7	0.16	-	-	10	0.23	2	0.25	6	0.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	-	-	16	0.33	-	-	10	1.11	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	4	0.11	-	-	24	0.67	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	-	-	52	1.44	-	-	12	2.00	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	-	-	28	0.50	-	-	4	0.57	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	8	0.24	1	0.10	8	0.80	-	-	-	-	11	1.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年14週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	5	0.01	290
北海道	-	-	-	-	32
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	1	0.08	6
秋田県	-	-	-	-	11
山形県	3	0.30	-	-	1
福島県	-	-	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	6
千葉県	1	0.13	-	-	5
東京都	-	-	2	0.08	7
神奈川県	-	-	1	0.13	4
新潟県	1	0.08	-	-	4
富山県	-	-	-	-	4
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.09	1
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	32
兵庫県	-	-	-	-	14
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	8
広島県	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	15
徳島県	-	-	-	-	4
香川県	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	3
高知県	2	0.29	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	15
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	7
大分県	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	7

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年14週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年14週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第14号 2007年4月20日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。